

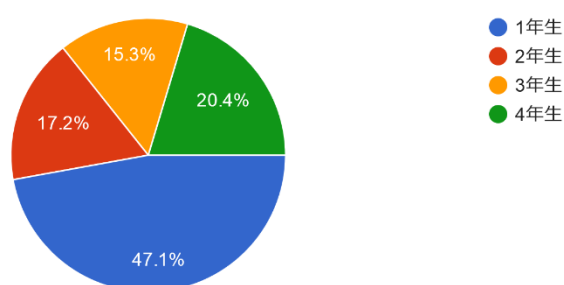
遠隔授業アンケート  
(2020 年度前期・学生)  
教養学部・人文社会科学研究科

---

実施期間：2020.07.27～08.14

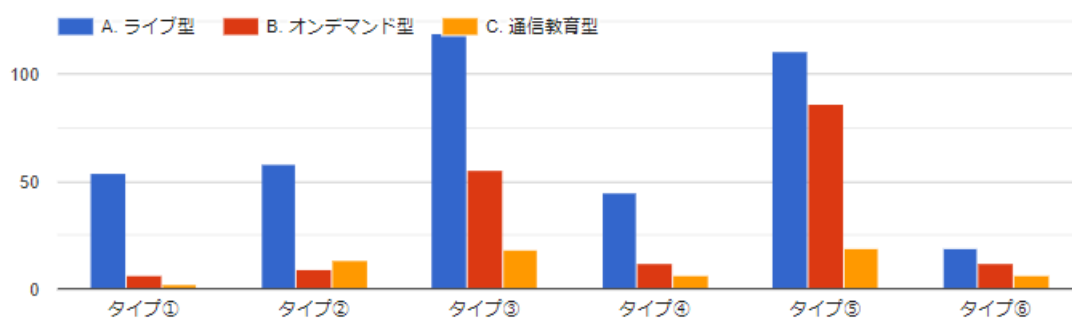
【回答者の内訳】

学年  
157 件の回答



【授業パターン】

☆各タイプの授業を、どの遠隔授業パターンで受講しましたか。（複数回答可。以下 I～X の設問において、タイプごとに状況や対応が異なる部分がありましたら、自由記述欄にて教えてください）



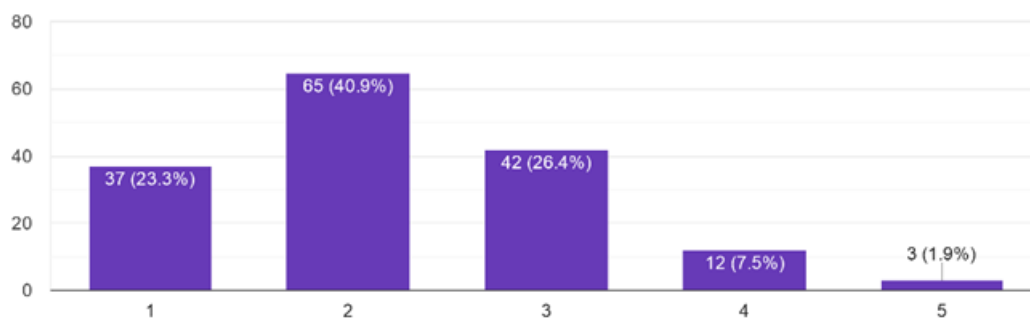
(参考)

|              |       | 授業形態 |      |
|--------------|-------|------|------|
|              |       | 講義   | 演習   |
| 履修者数<br>(目安) | 15 未満 | タイプ① | タイプ② |
|              | 16～49 | タイプ③ | タイプ④ |
|              | 50 以上 | タイプ⑤ | タイプ⑥ |

## I. 遠隔授業ツール

### I. 遠隔授業ツール（Zoom や Web Class 等）を順調に使いこなせましたか。

159 件の回答



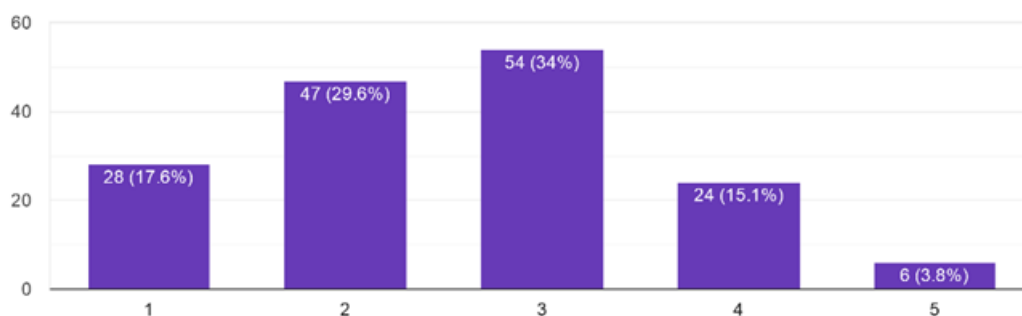
1=とても順調 5=ぜんぜん順調でない

- ・使用ツールとしては Zoom と Web Class の 2 つが標準的のようである。全般的に順調に使いこなせていた学生が多かった。順調でないと回答した学生は、操作に習熟していないということではなく、ときどき接続が切断されてしまうとか、映像や音声が乱れるなど、通信環境に起因する問題（cf.設問Ⅱと重複）による。【設問Ⅰ】自由記述<sup>(1)</sup>

## Ⅱ. 送受信環境

### Ⅱ. 授業を受信する環境（通信環境、PCおよび周辺機器を含む）は快適でしたか。

159 件の回答



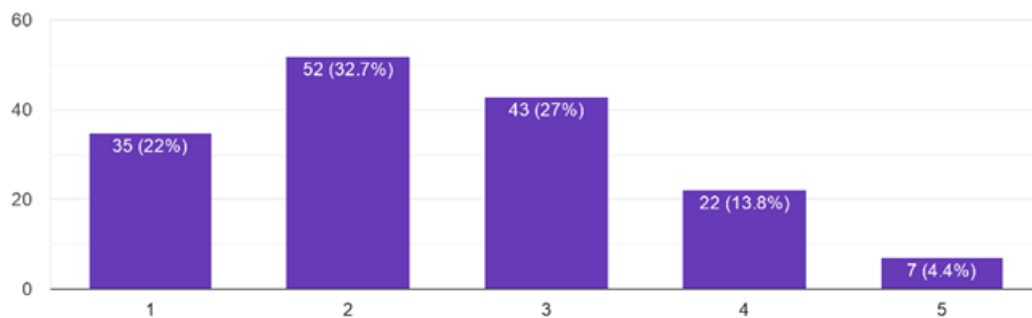
1=とても快適 5=ぜんぜん快適でない

- ・設問 1 で回答があった学生側の環境の不調のほか、教員側の環境の不調に対する指摘も複数あった。また、受講生数が多い授業において一斉にビデオをオンにした場合なども、不調が発生する報告があった。教員へのメッセージとして、（学生側の）機器や環境の不調に対する理解を求める声（配慮してほしい、責めないでほしい）も聞かれた。【設問Ⅱ】自由記述<sup>(2)</sup>

### Ⅲ. 授業に関する手続き

Ⅲ. 授業に関する手続き（シラバス、履修登録、授業参加方法など）は順調に行えましたか。

159 件の回答



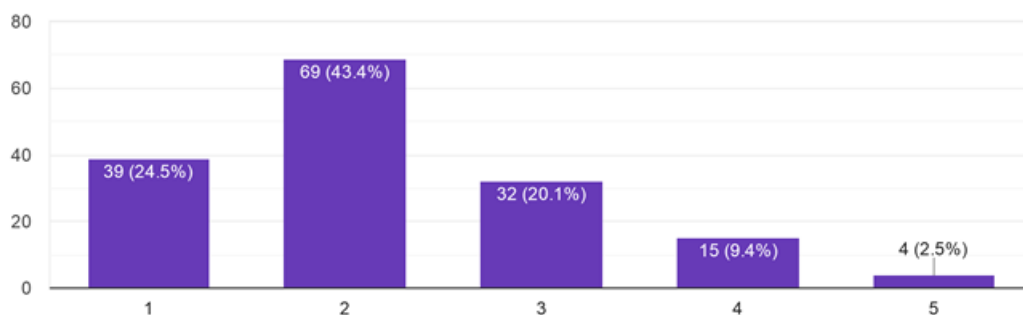
1=とても順調 5=ぜんぜん順調でない

- ・2年生以上は前年度までに履修登録の経験があるため、（1年生と比較すると）困難を感じなかったようだが、1年生は初めてのことであり、かつ（大学に来ていないため）いまだ友人や先輩などができていないことから、アドバイスを求めることもできず、困難だったようである。教員側の連絡先を公開して積極的に相談に乗ってほしい、ZOOMのリンクやパスワードの告知方法を統一してほしい、という声も多く聞かれた。【設問Ⅲ】自由記述<sup>(3)</sup>

### Ⅳ. 教材や課題の取り扱い

Ⅳ. 教材や課題の取り扱い（資料・ファイルの作成・送受信など）は順調に行えましたか。

159 件の回答



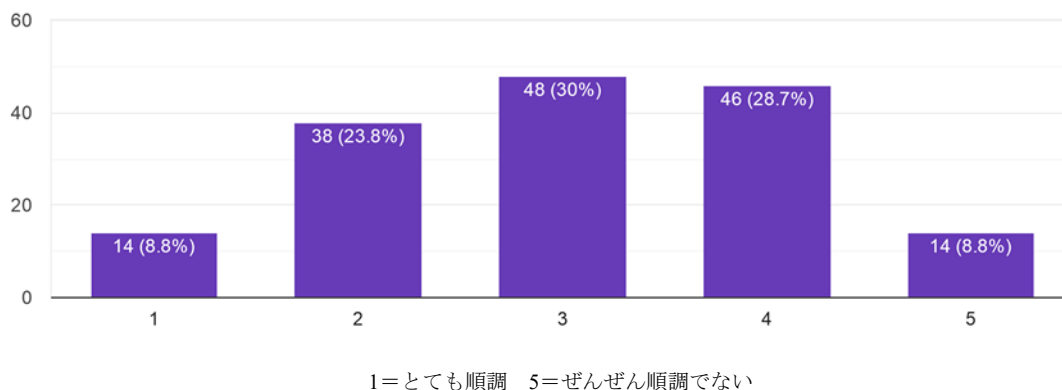
1=とても順調 5=ぜんぜん順調でない

- ・ソフトやアプリの不備によって順調でなかったという回答は多くなく、人為的な理由によるものが多い。受信については word, excel, power point などではない（汎用性の低い？）ファイルが開けない、送られてきたファイルを（コンビニなどで）印刷するのに意外と料金がかかる、という回答が複数。送信については、課題などを送った場合に（教員からの返信がないなど）ちゃんと届いたか不安だった、という意見も複数あった。【設問Ⅳ】自由記述<sup>(4)</sup>

## V. 教師や他の学生とのやりとり

V. 教師や他の学生とのやりとり（授業中の板書等を含む）は順調に行えましたか。

160 件の回答

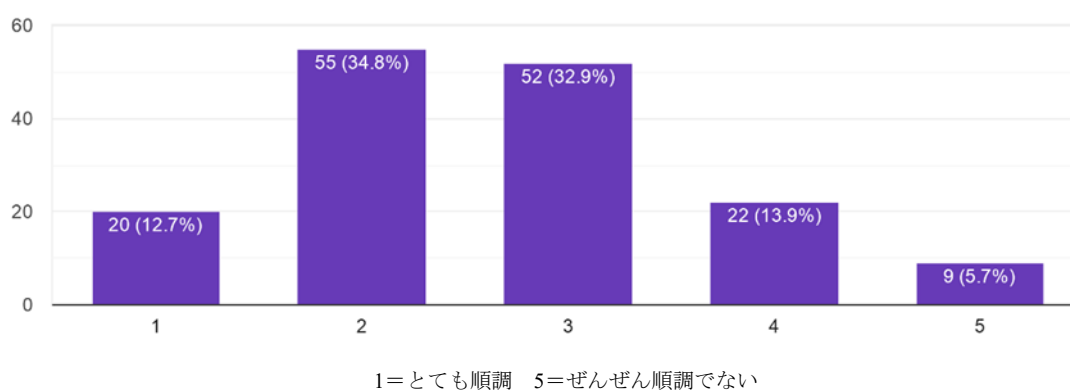


- ・教員とのやりとりより，学生同士のやりとりの方が困難であったようだ。教員に対しては，（チャットで）コメントを送ったが気づかれないというクレームが多く，ZOOM の各機能への絶え間ない注目が要求されている。学生同士では（1 年生は特に）実生活で会ったことのない学友との画面越しの会話は非常に難しいようで，（ブレイクアウトルームも含めて）誰も声を出さない，といった状況が多かったようである。【設問V】自由記述<sup>(5)</sup>

## VI. 試験やレポート

VI. 試験やレポートは順調に行われましたか。

158 件の回答

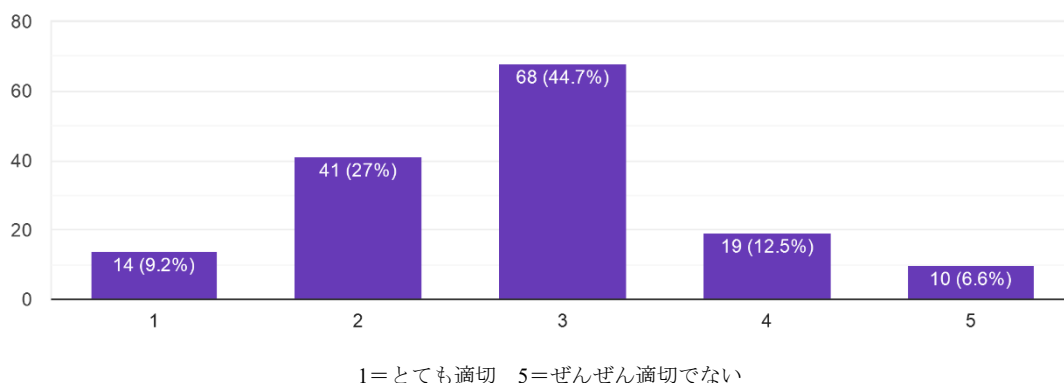


- ・遠隔授業での試験の実施は難しいということを十分に理解した上で，しかしながらレポート課題が多すぎる，という悲鳴に近いような訴えが非常に多かった。加えて長文記述式の課題が多い，提出期限までの日数が短い，図書館に行けず資料が集められない等々も大変な理由であるだろう。一方，試験実施についての印象は良いようであった。【設問VI】自由記述<sup>(6)</sup>

## VII. フィードバックや評価

### VII. 試験やレポートについてのフィードバックや評価（期末評価を含む）は適切でしたか？

152 件の回答

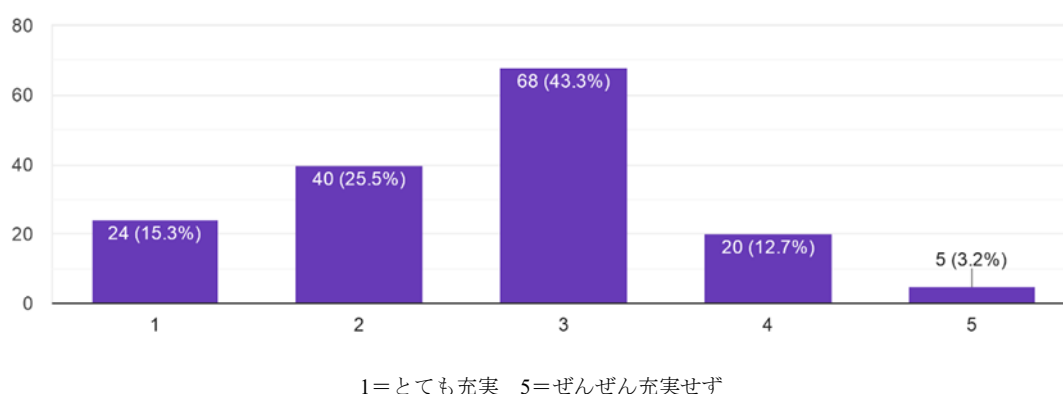


- ・遠隔授業では試験実施が難しいことを十分に理解した上で、しかしレポートだけで期末評価が行われるのは釈然としない、という回答が多かった（科目の性質上、レポートでの評価が適切でないものもあると思われる）。また（小レポートも含めて）フィードバックがないことに対する不満も多かった。教場と異なり、遠隔授業では教員と顔を見合わせたりする機会はないため、よりフィードバックへの希求が強くなるものと思われる。【設問Ⅶ】自由記述<sup>(7)</sup>

## VIII. 事務的サポート

### VIII. 事務的サポート（授業ツールの説明、遠隔授業...への対応など）は充実していましたか。

157 件の回答

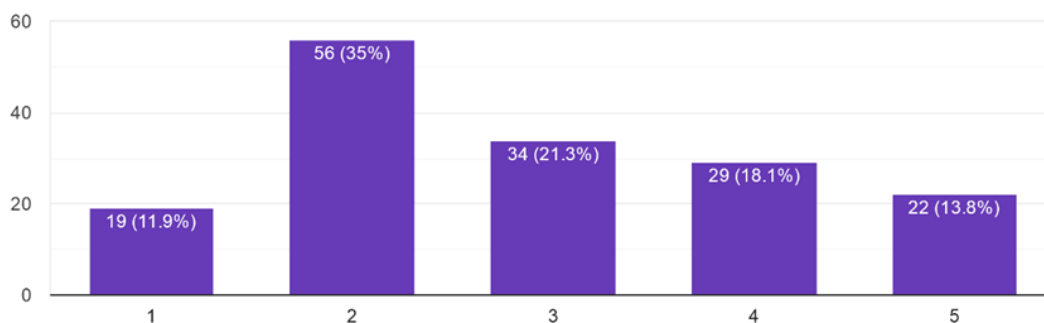


- ・事務的サポートは、迅速かつ丁寧という印象を持たれ、全般的に高評価であった。一方で、使用すべきツールが多様であることに大変さを感じている。原則として、全学的に zoom に一本化されたことを歓迎する声があった一方、（設問Ⅲの回答と重複するが）招待状の送り方の不統一など、教員による使用法の相違が煩雑さに繋がっている。【設問Ⅷ】自由記述<sup>(8)</sup>

## IX. 身体的・精神的な不調

### IX. 遠隔授業に起因する身体的・精神的な不調はありますか。

160 件の回答



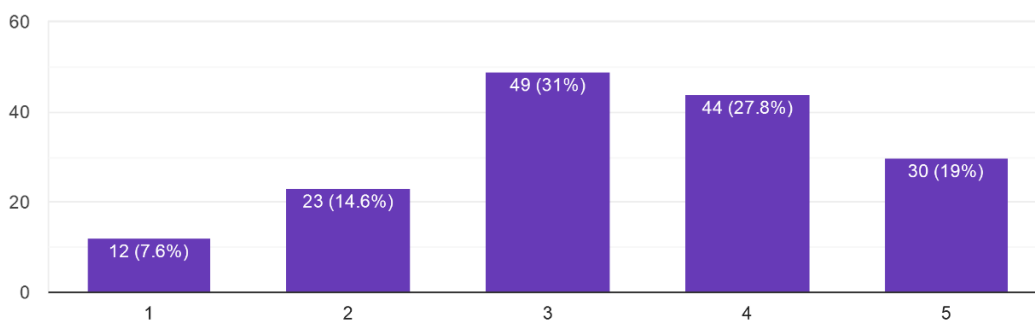
1=とても深刻な不調あり 5=ぜんぜん不調なし

- ・身体的な不調としては眼精疲労，肩こり，頭痛，腰痛，睡眠障害など，長時間 PC と向き合うことから来るものが多い。一方，精神的な不調としては（特に 1 年生に多いと思われる）孤独によるストレス，抑鬱感，閉塞感，不安感，恐怖感など，登校しないことによるものが多いようである。また，（設問 VI の回答と重複するが）課題やレポートが多すぎて処理しきれないことによる身体的な疲労感，精神的な焦燥感なども目立つ。【設問 IX】自由記述<sup>(9)</sup>

## X. 満足度

### X. 今回の遠隔授業について、対面授業に比して満足していますか。

158 件の回答



1=とても満足 5=ぜんぜん満足せず

- ・圧倒的多数はデメリットを訴えている。対面授業では少なかったレポート課題が，遠隔授業で急増したことは，授業の「変質」を意味する。PC で授業を「視聴」し，それをレポート化するという“繰り返し”に極度の心身的ストレスを感じ，（特に 1 年生は）「対面での積極的な学び」や「友人や教員との交流」を強く希求している。また，なぜ対面授業ができないのかについて大学からの「説明」が足りない，という意見もあった。【設問 X】自由記述<sup>(10)</sup>

---

(1) 【設問 I】 自由記述

- zoom は通信環境以外は順調でしたが、web class は難しかったです。
- zoom webclass
- Zoom,WebClass
- 大きなトラブルありませんでした。
- 正常な操作をしたにもかかわらず、zoom の会議に参加できない受講者がいることがあり、他の受講者などを通じて教授に伝えたにもかかわらず、今はどうしようもできないので後で対応する、と言ったケースが散見されました。公平性の観点からよくないと思いましたので、オンライン授業のツールは一つに拘らず複数個提示する、つながらない方は電話等で即時に個別対応をするなど、自分自身何かあったときに安心して授業に臨めるような対応を求めます。
- 時々zoom の接続が切れる、音声や映像が乱れる、そもそも接続ができないなどの問題があった。その場合に教授にすぐに伝えることができる手段がなく、気づいていないのか再入室も許可が下りず授業を受けられないこともあった。また、教授側も使いこなせていない場合が多く、授業を中断することがあった。
- 自分は困らなかったが、周囲には困っている人がたくさんいたので気の毒に思った。
- 複数あるツールをまとめて減らすことはできないでしょうか。教員によって教務システムのメッセージなのか、ウェブクラスのメッセージなのか、または E メールに直接連絡が来るのかがまちまちで、情報を見落とさないようにするので手一杯です。Twitter などと同じ授業に確認を取り、ようやく情報が得られるような人も見かけます。
- 時々、授業前に zoom に接続しているのに授業に遅れて入ることになるトラブルが発生する
- ウェブクラスの不調を報告するとすぐにエラーの対応をしていただいていたありがたい。zoom では、たまに回線が不調で強制退出になったり、入りなおしたりするので、もっと定期的に待合室の状況を確認していただけるとありがたい。
- Zoom を使用しての話し合い活動を行う時間と、オンデマンド式の講義を聞く時間に分かれている授業もあった。
- 自分の PC のトラブルでしっかり受けられない授業があった。教授側のトラブルによる休講や中断もあった。
- 通信状況に関して問題が起きることはなかった。ただ、人数がとて多い授業（100 人以上）のものだと、時々映像や音声の乱れがあった。Web Class に関しても特に大きな問題はなかったが、先生方がアップロードしてくださっている動画がうまく見れないときや、アンケートがうまく答えられないなどの問題は時々あった。
- スマホで zoom を使用し、授業を受講する際、何度か操作が分からず、ルームを誤って退出してしまうことがあった。webclass は以前から使っていたので、これといった間違いや不具合はなかったものの、先生によって使い方が異なるため、順応するのに時間がかかった。
- 音声聞き取りにくい、映像が途切れてしまう、パワーポイントと講義がずれてしまう、オンデマンドの動画が時間通りに上がらないという問題があった。
- zoom や Web Class にアクセスできないときはあったが、数えるほどだったので大きな問題にはならなかった。
- 履修人数が 100 人以上であるにもかかわらず、zoom によるライブ授業で全員が同時に顔出しすることを求める授業があり、回線に負荷がかかって落ちることが多かった。
- 1 人のインターネット接続が悪いときに授業の雰囲気非常に悪くなってしまい、授業が楽しくないと感じることがある。オンデマンドでは、先生の話し方のスピードが遅すぎるし、速度を変えることができない設定にされていてイライラした。配布される資料の画質が悪くて資料として機能していない時もあったし、zoom のチャットで Word の資料が配布されるときに一部の生徒には完全な形でなく、一部が抜けて配布されてしまうこともある。アクシデントがあるたびに、授業に対して不満が募った。さらに、インターネット接続などについて理解を示さない先生もいてイライラした。
- リアルタイム授業において、不安定なネット環境によって欠席になってしまうことがあり困

- 
- った。オンデマンド形式の授業が増えるとうれしい。
- ・（冒頭の授業パターンの質問について）zoomを使う授業は入室者で履修人数がおおよそわかるが、それ以外の授業は把握ができないため正確な回答ができなかった可能性がある。
  - ・zoomが授業中によく固まってしまった。
  - ・2回程度、パスワードが正しいのにzoomミーティングに入れない問題が発生した。最初に起きたときはどうしたらよいか分からず欠席してしまったが、再度同じ問題が起きたときにスマートフォンで入ってみると、パソコンでも入れるようになった。原因はわからない。
  - ・なぜか音が聞こえない、または音が割れる、パスワードを正しく打ってもzoomに入れないといったトラブルがあった。
  - ・たまに、音声がつながらずゼミ等で質問ができないことがあった。また発言者の声が聞こえない時があった。また先生のネット環境の問題で数回だが授業が止まったことがあった。
  - ・Web Classの動画視聴機能の使い勝手が悪い。（視聴中に時間を知らなくて動画をクリックしても反応しない、巻き戻そうとすると動画が止まり再読み込みしなければいけない、がストレスだった）
  - ・Zoomもwebclassも使い方を覚えるととても便利でした。
  - ・それぞれのネット環境の質やPCの性能に左右されてしまい、資料を読むときなどに時差が生じてしまったりすることがあった。
  - ・zoomで落ちてしまって、再度入室する生徒に怒ったのはびっくりしました。言語の授業でリスニングは途中で切れたりしまうので厳しいのではないかと。先生と二人きりで授業外の時間でズームを使ってテストするのは好きではなかった。
  - ・聞きたいことなどが思うように聞けなかったりした。
  - ・回線が悪い場合があった。Web Classで資料のアップが授業直前ということが多々あった。
  - ・ZOOMにて、先生の声が聞き取りにくかったり、自分のパソコンに不具合が発生したり、綱渡りでどうにか終了できたという感じです。
  - ・1つの画面でライブ講義画面と資料を同時に映しながら受講するのはやりづらさを感じた。
  - ・最終的にZOOMやWebclassの基本操作は理解することができました。

## (2)【設問Ⅱ】自由記述

- ・このために買い換えたので途中で良くなりました。
- ・PCが自宅のwifiにつながらないトラブルがあった。
- ・前述のとおり、たびたび接続が切れるなどの問題が多々あった。
- ・ノイズ対応や音量調整が必要だった
- ・数回Zoomが落ちました。
- ・光回線（有線接続）
- ・私は大丈夫だったが、先生のネット環境が悪く、途中で切れてしまう授業もあった。
- ・大学の国際交流会館にいたので問題なかった。
- ・自分の受信環境がよくても、送信環境が悪い先生方がいるので、通信が途切れたりした。
- ・Wi-Fiの調子がよくないことが多かったのが先生に伝わっているかが心配でした。
- ・ビデオをオンにしなければならない授業があるが、大人数が画面をオンにすると回線が重くなり、音声も途切れて重要な連絡を聞き逃してしまうことが度々あった。
- ・マイクや印刷機の不調が時々起こりました。
- ・zoomの授業では多くの人数がビデオをオンにした状態で進めると通信状況が悪くなりました。画面共有でビデオを映したり音楽を流したりしたときも、上手に見れないことや聞けないことが多かったです。
- ・6月の初めにパソコンが壊れたが、すぐに新しいものを買ってもらえたので授業に支障はなかった。今4、5月のデータは現在使っているパソコンに入っていないが困ったことは起きていない。
- ・zoom授業の場合、自分の環境がよくても相手の不具合で映像や音声に乱れが生じることが多かった。
- ・電波の影響で先生の話が途切れることがある。ライブ型の授業はすべて、授業録画の再掲を

---

して欲しい。

- ・通信が途切れたり、Zoom に入れなかったりするトラブルが発生したことがある
- ・自宅 Wi-Fi の調子が安定せず、接続が不安定なときが少々あった。
- ・通信速度が遅いというトラブルはなかったが、住んでるマンションの工事が始まって、騒音がすごく、グループセッションの時、グループの人に申し訳ないということがあった。
- ・ZOOM の通信量が大きいので、授業の映像が乱れたり、意見交換がうまくいかないことがあった。
- ・家族と Wifi を共有しているので、親のテレワークが始まると自分の機器がネット接続できなくなり zoom から閉め出されることが多々あった。視聴側もいつでもネットに繋がられるわけではないので、オンデマンド動画において動画である必要性がない授業（パワポに喋る音声だけ等）だったら、音声の mp3 とパワポ資料を配布していただけたら、こちらも接続を気にしないでいいので不安が減ってよいと思うのです。
- ・WiFi の不調により、たまにライブ配信が途切れるなど
- ・ノイズもありませんでした。
- ・インターネットの接続が悪いことがあり、遅刻と判断されないか心配だった。理解してくださる先生はとてもありがたかった。
- ・たまに WiFi の調子が悪いと強制退出になったり教授の声が聞こえなくなったりする。オンデマンドの動画は問題なかった。
- ・稀に音声途切れたり遅くなることがあった
- ・負荷がかかるのか、パソコンがどんどん熱くなっていった怖かったです。
- ・オンライン授業のために光回線を契約したため、先述したような状況でなければ特に支障はなかった。
- ・何回も回線が途切れてしまった。
- ・私の家の通信環境は比較的安定しており快適に授業を受けることができますが、時々強制的に ZOOM 授業から退出させられてしまうことがありました。
- ・特に生徒全員がビデオオンにしたときにハウリングが多く起こったり、画質が荒くなる時がありました。
- ・時々自宅の wi-fi の接続が切れて、先生にその旨を伝えるという面倒なことがあった。
- ・プリンターを持っていないのでコンビニにいちいち行くのは面倒だった。
- ・通信環境が原因で聞き取れないことや、参加できないことがしばしばあった。
- ・教師側の通信環境が悪く、音声や映像が良くないことがたびたび起こった。
- ・特に不具合はなかったものの、以前よりも PDF などの資料をダウンロードすることが増え、パソコンの容量が足りなくなり、外付けの HDD を買わざるを得なくなった。加えて、長時間パソコンを使用するので、バッテリーの持ちが悪くなったこと、そして目が悪くなりました。
- ・自宅で受講している際、突然 Wifi が飛ばなくなってしまい zoom の通信が切れてしまうということが度々あった。自宅のネット環境を整えればいい話であるが、高性能の無線ルーターは高価なものが多く、中々手が出せない状況である。
- ・zoom で先生や生徒の声が聞こえなかったり、固まったりすることがある
- ・オンデマンドの映像や音声の乱れた時、すぐに修正を依頼することができないのでスケジュール調整が難しいように感じた。投稿する前に教授側でできれば確認して頂きたい。
- ・ラップトップのモニター部分が故障し、修理している期間は家にある作動の遅い他のパソコンで受講しなければならず、大変だった。
- ・その時々、回線状況によって変動したが、ビデオを必ず付けなければいけない授業で回線が重かったり、落ちたりすることがあることをできれば考慮して欲しかった
- ・自分自身の通信状態が途絶えてしまった間に授業が進んでしまい授業内容が断片的になってしまう事態が多く発生した。大学から Wi-Fi ルーターを貸し出してもらっているが、常にストレスフリー通信状態とはいえない。また教員側の通信状態が悪いときはしばしば教員がミーティングから退出し、沈黙の時間が続くという状況が発生した。授業のテンポが悪くなるのに加えて、学生側も不安になるため、通信状態が悪化した際のガイドライン（授業

---

が何分中断した場合、教員が復帰しない場合は中止など)の策定が望まれる。

- ・時々通信環境がとても悪くうまく受けられなかった
- ・ソフトバンク光回線
- ・かなり多くの人が接続している授業だと通信が不安定になることがあった。
- ・通信環境が安定しない日は、なかなか授業に入れなかったり、先生のお話している声が途切れてしまうことが多かったです。
- ・音声や映像トラブルがありました。
- ・ときどき WiFi のサーバーがダウンして、授業開始前や授業中に遠隔ツールが使えないことがあった。
- ・繋がらないときに、配慮してくださる先生とそうでない先生の差がありました。
- ・自宅の通信環境があまり良くなく (softbankAir)、たびたび ZOOM が強制終了するなどのトラブルがあった。
- ・接続が悪く、先生の話が聞こえない時があった。
- ・授業中に電波が切れて音声がなくなったり、ミーティングから自動退出されたりしていることがあった
- ・Wi-Fi が落ちたり、カメラをオンにできなかったりした。
- ・何回も回線が途切れてしまった。
- ・負荷がかかるのか、パソコンがどんどん熱くなって行って怖かったです。
- ・WiFi の不調により、たまにライブ配信が途切れるなど
- ・zoom 授業は高確率で 1 回は落ちます。多いときは 3 回です。PC に子機を挿して WiFi を集中させたりしてこちらも通信環境を可能な限り整えているのですが、先生の PC のネットワーク帯域幅が狭かったり、そもそも zoom の回線状態が悪いこともあるため、こちらの準備不足だと言われても対策の仕様がありません。一度先生に「なんで zoom が落ちるの？」と責められたこともあるのですが、上記のような理由があると理解してほしいです。特に zoom で授業を行うならどういったトラブルがあるのか事前に知っておいてほしいです。
- ・私の家の通信環境は比較的安定しており快適に授業を受けることができますが、時々強制的に ZOOM 授業から退出させられてしまうことがありました。
- ・自宅 Wi-Fi の調子が安定せず、接続が不安定なときが少々あった。

### (3)【設問Ⅲ】自由記述

- ・この履修登録でいいのか、他にとれるものはあるかなど、相談できる相手がいなかったのでも不安であった。
- ・在学生に知り合いがいたため、順調に行えたが、いなかった場合は分からなかったことも多かった
- ・今年度編入学したため、多少の戸惑いを感じた。
- ・一年生で何もわからない状態だったので、履修登録が非常に大変だった。
- ・履修登録期間にアクセスできないことがあり困った。これはコロナの影響前からあったがしっかりシラバスを書いていない授業があり、困る
- ・先生が交代していくタイプの講義で、webclass に URL を載せる人とメッセージで送ってくる人が別々でいるので、せめて講義ごとで統一してほしい。
- ・先輩や同学年とのつながりが全くないうなかで、だれにも相談できずに履修登録をしたのが不安で仕方がなかった。
- ・ズームのパスワードの配布がウェブクラスのタイムラインを確認しなければわからないので、メール等で確認しやすくしてほしい。
- ・3 年目なので履修登録は問題なくできた。授業に参加するための zoom の URL を Webclass のタイムラインに常に表示していただくと、参加がもっとスムーズにできたと思った (実際にやっている教授がいてとてもやりやすかった)。
- ・このような Webclass の全体的なシステムの改善は後期のオンライン授業に向けて行ってほしい。
- ・最初は戸惑ったが慣れてみれば難しくはない。むしろパソコンを使う機会が増えて、パソコ

---

ンに親しむいい機会になったと思っている。

- zoom のリンクを web class や個人のメール、web 学生システムのメッセージなど、先生によって異なる場所に掲示されていたので参加するときに混乱した。
- 履修登録は 1 年生で初めてだったのに加えて相談できる友達や先輩も少なく大変苦労した。
- 相談できる友達が全くいない中での履修登録だったので不安がすごかった。
- 一番初めに履修登録をするときに、右も左も分からないままほとんど自力で行ったので、これで大丈夫だろうかと少し不安になりました。
- Zoom のパスワードの表示場所が各先生ごとにバラバラ（Webclass のタイムライン、教材内、学生 Portal のお知らせなど）で最初は混乱があった。
- 最終課題がどんなものでどのくらいの量なのか履修登録期間にあらかじめ教えてほしい。期末期間が極端に忙しく、「提出すれば良い」という気持ちになってしまっていて、最終課題のクオリティが満足できないものになってしまっている。
- ミーティングの待機室を有効にしないでほしい。参加待機中のまま数十分経過することがある。
- 履修登録が昨年より混雑して開きにくかった。
- zoom が回線落ちしてもう一度入室を試みようとしたら、授業に遅れてきた人だと勘違いされ、「今更来るな」と入室を拒否されたことや待合室で待っていても気付かず、授業が終わる 5 分前にやっと入れたときなどがありました。また入室許可人数の上限が 100 人に設定されており、その上限のせいで参加できない人もいました。待合室を設置するなら回線落ちで再入室する人の存在を認識してほしいです。
- 履修登録初日は学生システムに入れなかったです。翌日登録しました。
- 知り合い 0 の状況でこんなのが順調に行えるわけがない。
- 授業によってアクセス方法が違っていたので大変だった。統一されると使いやすい。
- 本来であれば履修登録について履修登録手引きを熟読し、やるべきであるとは思いますが、熟読してもわからないことが多く、大変手間がかかり、さらに何をどうしたら良いのかわからなくなることもありました。大学の教授の方々が履修登録等について映像を配信くださったおかげで幾分か理解し、一応の履修登録は行うことができましたが、ものすごく大変でした。
- 特に履修登録をする上で大変だったのが様々な資料をネット上で参照しなければならなかったことです。コロナの影響でなくなった講義が毎日のようにネット上に掲載されとても混乱しました。また、どの資料を参照してよいのかわからなかったです。これはオンラインであるが以上致し方のないことではあると思いますが大量の履修登録に関する情報があり、混乱しました。
- 授業参加方法についてはスムーズに行うことができました。
- シラバスから授業形態が分からない授業が多くてはじめは戸惑ったので、明記してほしい。
- 他学部では面談をしていると聞いたので、教養学部生にもそのような機会があれば、コロナで不安な気持ちが解消されそうと思った。
- 履修登録に関しては、相談する相手がおらず不安がかなり募った。
- 理解が追いつかず何度か授業に参加し損ねた。
- 初めての履修登録で分からないことだらけであったが、周囲に相談できる人もおらず大変困った。また、シラバスで検索しても出てこない授業がいくつもあり、探すのが困難であったため、改善してほしい。
- 対面授業用のシラバスではなく、遠隔授業用に作ってほしい。
- 名前は伏せますが、ある授業で、いつもどおりに開始時間前に zoom にログインし、先生から許可がおりるのを待っていたのですが、一切来ず、そのまま 20 分ほど入れませんでした。休講の連絡が来ていないか、入るルームを間違えていないかと確認して、再びパスワードを入力したりしたのですが入れず、その後、授業開始 30 分過ぎにいきなりルームに入ることができ、すると授業が普通に進められていました。後々録画されていた授業が webclass で見れたので確認したところ、私と同様に授業を受けることができていない人がいたのか、私は授業開始時間よりも前にログインしていたのに、先生はまるで zoom にログインしていないの

---

が悪いかのような言い方をされていて、不快でした。出席が成績評価に入る授業でしたし、先生にこのことを説明したくても、証拠となる写真等を持っていなかったもので、諦めました。こういった、先生によっては少し納得のいかない授業方法を行う人もいるので、後期は先生たちも考えてほしいです。

- ・ 新入生への履修登録や授業の説明が少なかった。大学生となり、自立性が求められるとはいえ、あまりにも新入生に不親切である。大学側もコロナウィルス関連で大変だっただろうが、1ミリでも新入生へ配慮してくれたらありがたい。
- ・ 2年生以上は履修登録や手続きの面では例年と変わらないので困らなかったのでは。
- ・ 4月～5月の中旬まではどの授業がリアルタイム配信かオンデマンド配信なのかで混乱したり、はじめての zoom で戸惑ったりしていました。また、履修登録自体も初めてだったのと、回線が混み合っていたのもあってスムーズにできず大変でした。
- ・ 対面授業であったら、授業の直前に履修登録をしても授業に参加できたが、それが出来なかったのがやりにくかった。ある授業では、抽選の結果が第2回の授業の当日に言われたため、それが落ちたら入れようと思っていたほかの授業に参加することができなかった。また、そのことを連絡しようとしてもシラバスに教授の連絡先が書かれていなかったもので、シラバスにしっかりと情報をすべて書いていただきたい。
- ・ 履修登録の仕方を直接教えてもらったり、アドバイスしてもらえなかったのが不安がとても大きかった....
- ・ 特に感じませんでした
- ・ シラバスで検索しても出てこない授業があり、どう取るのかわからなかった。
- ・ はじめての履修登録は動画で手順を見られたのでなんとか正しく登録できた。
- ・ オンデマンドの予定の授業が突然ライブ型に変更になって、参加 URL を見つけられないことがありました。
- ・ 授業の難易度や具体的にどんなことを学ぶのか、実際はどういった人が履修すべき授業なのかということが分からず大変手間取った。
- ・ 履修登録のやり方が分かりづらかったです。

#### (4) 【設問IV】 自由記述

- ・ webclass にアップロードされたものを印刷して入手しました。教科書等は生協で注文しました。
- ・ 大学生協にて教科書を購入したが、授業開始までに配送してもらえるのか不安な点があった。
- ・ outlook が起動しないことがあった。
- ・ はじめは大変骨をおったが、慣れたらそれほど苦労しなかった。
- ・ 課題のファイルを送信してもちゃんと届いているのか分からないことがあり不安だった。
- ・ メールが先生にしっかり送られているか分からなくて正直困りました。あと、第2タームで××の××先生が授業中に私に授業資料を添付したファイルを送り忘れていることが何度もあって、毎回の授業でそのことで緊張と不安を感じ、授業が終わるといつも疲れます。ちゃんと生徒全員に送ってもらいたいです。
- ・ レポート提出フォームが機能しなかった
- ・ 授業の進行が早いものはオンデマンドを何回も聞き返してノートをとっていたら倍くらいの時間がかかってしまうため、レジュメに要点はあらかじめ記して欲しい。
- ・ 4月、5月の最初の時は大変でしたが、最近は慣れてスムーズにできるようになりました。現状に不満はありません。
- ・ 学校側から送られてくるファイルが開けないものがいくつかあったので、送るファイル Word や PowerPoint, Excel などに統一して欲しい。
- ・ 講義資料の印刷に、かなりの費用が掛かった。
- ・ レポート等を Webclass のメッセージや Eメールの添付ファイルで提出する授業があったが、教材欄から提出するのに比べてきちんと受領されたかどうか分かりづらく、心配になるのであまり好まない。

- 
- ・同じ先生の授業を2つ取っていたのだが、その先生が教務システムを通して送ってくる資料などが、どちらの授業のものか記載されていなかったため、分かりにくかった。
  - ・授業で使っているスライドと、配布した資料のスライドが大きく異なる先生がいる。提出日などの情報を記載しないのに、何の意味があるのか分からない。
  - ・上記で述べた通り、容量が不足してしまい、外付けのHDDを購入せざるを得なくなりました。
  - ・たまにWEBクラスで授業コメントを提出しても消えることがあった
  - ・Webclassに教材がアップロードされる形だととても使いやすい反面、ウェブクラスのメッセージでは添付ファイルを一種類しかつけられ無いのがやや不便だった。
  - ・リアクションペーパーや出席をWebclassでとったり、課題をメールで送信したりしたが、返信がなかったのでもちゃんと送られているのか不安だった。
  - ・webclassにて添付ファイルが送信できないことがあった
  - ・課題がきちんと提出されているのかよくわからない。これで単位落としたら泣く。
  - ・英語のE-Learningの通信が頻繁に途切れることがありました。
  - ・web class上で課題を提出したり資料を閲覧するときに、明らかに不必要な回数制限が設けられていた授業があった。(ネットの不備などでページをリロードすることもあるので、課題内容の提示兼提出フォームの利用回数が3回までというのは明らかに不適切だと思う。)
  - ・先生からの資料の受け取りはPDFファイルや郵送がありましたが順調でした。教科書の購入が想像より届くまでに時間がかかって授業に間に合わなかった。
  - ・大学側から送られてくる資料で、wordやpdf形式でないものは開けなかった。また、課題を提出した際に受け取り確認のメールをいただけるとありがたいと思った。
  - ・自分ではちゃんと作ったつもりでも、先生が自分のレポートに関してコメントをしてもらえぬ場が全くないので、正しいかわからない。内容に関してでなく、レポートの型、表紙をつけるかつかないかといったところが一年生なのでわからない。テンプレートを作ってくださった先生がいて、その先生のものに関してはとてもやりやすかった。
  - ・ファイルの形式指定が難解なことがありました。
  - ・教授によって課題の提出方法が統一されておらず、学生からしたらかなり混乱することが多かった。中には「Webclassが苦手だから」と言ってEメールでの提出を求めたにも関わらず、提出できたかの確認のメールが送られてこない為、本当に提出できているのかが不安で仕方ない。折角Webclassという課題を出せば自動で提出完了の知らせが届くシステムがあるのだから、そういった教授には「苦手だから」と言って学生に迷惑をかけないで頂きたい。ただでさえ課題が多くて生活時間が圧迫されている学生に精神的負担をかけないで欲しい。教授陣も多数の講義を担当して大変なのは分かるが学生もそれは同じである為、互いに必要な苦労は惜しまず精神的な負担を少しでも減らせるように試みてほしい。
  - ・特に問題はなかった。
  - ・仕方ないが、教科書がなくプリントが多い授業は家にコピー機がないので週末コンビニで大量に印刷するのが大変だった。
  - ・先生によって、教務システムのメッセージで送ってきたり、webclassのメッセージで送ったり、気づいたらwebclassにアップされていたりと統一してほしかった
  - ・ダウンロードに問題はなかった
  - ・ファイルの送受信にあまり不都合は感じなかった。
  - ・印刷する紙の量がとても多かった。
  - ・送信を送るとエラーが発生して初めから書き直しになることが多々あった。
  - ・WEBCLASSは使いやすいと思いました。
  - ・出席の代わりにレポートを課されるなど、授業に慣れおらず頼れる人もいない中での課題の量の多さに圧倒されました。
  - ・教授に送信したレポートが実際に届いているのかわからないことがほぼでした。中にはお返事を下さる教授もあり、大変助かりました。オンラインでの大学授業ははじめてのため、自分の送った資料がきちんと教授に届いていて、さらに教授の送った資料はきちんと自分に届いているのか不安な時がありました。

---

(5) 【設問V】 自由記述

- ・工学と社会の授業の zoom で、先生にチャットを送っているのにもかかわらずスルーされている人を見かけました。
- ・若干のタイムラグはありますが、概ね順調に行われていると思います。ズームには、反応機能、挙手機能など、やりとりを円滑にする機能が備わっています。これらを知らない先生もいらっしゃるようですから、ズームを利用して授業を行う先生には是非知っていただきたいです。
- ・出来る講義とできない講義がありました。
- ・授業内の質問は zoom のチャット機能を利用しました。個人的に、zoomの方が普段の授業よりも気軽に質問できました。授業外では webclass のメッセージ機能を利用しました。
- ・講義内・Zoom（チャット含） 講義外・直接の e メール、WebClass のメッセージ機能
- ・画面共有による個人発表も問題ありませんでした。
- ・対面授業や少人数のライブ授業以外は、あまりコミュニケーションが取れないと感じる。
- ・先生方とのやり取りは非常に良く出来たのですが、生徒間でのやり取りが困難でした。
- ・WebClass で先生に授業の質問のメッセージを送っても、返信がなくて、不安に感じたことがあった。
- ・通信環境や PC 環境に問題があって会話がままならないことがあった。
- ・生徒間のコミュニケーションは特に空気の読み合いみたいなもので、苦手な人は本当に大変そうだった
- ・数人で別れて話をするときは、人と被らないように話をしなければいけないためとても疲れました。ほとんどが初対面であるため余計に気を使いました。
- ・オンラインで行う授業では、録画したものを後日 webclass にアップしてほしいです
- ・オンラインでの独特な距離感がつかめず、話し合いが停滞してしまうことが多々あった。また、なにかトラブルが発生した際に教員にチャットでメッセージを送っても気づいてもらえないことが多い。
- ・グループワークがある授業がそんなに多くないので、ほかの学生と課題などの話し合いがあまりできなく、課題の進め方、やり方に不安を感じながら課題を行うことが正直大変です
- ・ブレイクアウトセッションが機能しなかった
- ・たまに回線の状況が不安定にあって音声聞き取りにくくなるので、課題やテストの重要な情報は、zoom にて口で言うだけではなく、後日などにウェブクラス上に文章に書き起こして伝えてほしいと思った。
- ・演習での双方向のコミュニケーションは難しいところがあった。
- ・zoom でチャットをしても見ない教授がいる。見てほしい。
- ・他の生徒とのやりとりの時、初対面で画面越しというのは緊張もあって非常に話しづらい。画面がオフだと誰かが喋り出すまで沈黙でいるのはつらいし、時間がもったいない。
- ・先生とは zoom のチャットでやりとりができることもあるが、他の人とは交流が全くないので、顔出しがない授業の場合は、誰が受けているのかわからないし、全くやりとりができません。
- ・先生が一方的にお話しする授業が多く、先生とのやりとりはできましたが、他の学生とはやりとりはありませんでした。学生は名前もわからなくなっていますし、自分の知り合いが同じ授業を受講しているのか、同じ授業を受講している人と関わりをもつ機会もなかったもので、孤独感がありました。
- ・グループディスカッションがある授業で先生が顔を出すよう指示がない場合は、顔を伏せたままディスカッションすることが多く、話すタイミングや表情がわからず伝わっているのか心配になることがしばしばあった。
- ・先生と授業後などに話す機会がないのが残念。
- ・教員とはメール等でやりとりができたが、学生間にはほぼやりとりができなかった。特に、今まで連絡先を把握していなかった人とは授業外のやりとりができなかった。
- ・授業中に先生側の音声途切れるトラブルはよく起っていた。グループワークがないものだ

---

と、他の学生とのコミュニケーションツールが無い講義が多く、学生側の不安が募りそうだと感じた。通信教育型の講義についてどうしても読む量書く量共に課題が多く、80分の授業時間の中で資料を全て読み切り1000字前後の課題レポートを出すのは難しかった。学生と先生側で上手く難易度が噛み合っていなかったように感じられた。

- ・質問がやはり難しい。最後にまとめてしなければならぬから。演習においてもいろんな人に話してもらおうと思うと、対面とは違って譲り合いや時間、ネット環境によって中途半端になってしまうこともあった。
- ・個別の質問や話し合いは対面の方がやりやすいように感じた。
- ・やはりオンラインということで、話し合う際に順番に話さないと言葉が混じって訳分からなくなる。また、私の場合、少人数の授業を多く履修しているため、授業中の先生とのやりとりを期待していたが、それが難しかった。
- ・他の学生との交流は少なく、意見交換等が出来ない点が悔やまれた
- ・オンラインのため、メールしたりズームで発言することを躊躇ってしまうことがありました。他の学生と気軽に相談ができないことはとても不安でした。
- ・相手の通信が悪くてグループワークがまともにできないことが多々あった。
- ・授業内容についての会話や課題の確認等、本来なら授業後に同級生とするような会話ができなかった。・学生同士の話し合いの時間は、たとえ顔出しの授業であっても、対面で話すのに比べると若干のやりにくさを感じた。・一方で、質問や先生の問いかけに対する答えはzoomのチャットを通して気軽に行うことができたと思う。(チャットなら授業の流れを止めて視線を集める感じが無いし、匿名性も高いため。)
- ・少人数制のZOOMでの学生にも発言を促すような授業では、通常より先生との会話が多くなったように感じた。
- ・板書中、共有画面が切れることが多かった。
- ・音声が途切れることがあった
- ・ブレイクアウトルームは容量が重くなるのか、入室すると何故かパソコンが固まってしまうことがあった。
- ・質問がしにくい点はやはりネックだと感じた
- ・ネット環境さえよければ問題なく進められた。
- ・先生によってはzoomに使い慣れておらず、進みが悪い授業もあった。
- ・グループディスカッションを有意義に利用できました。
- ・顔出ししなかったということもあるが、zoomでのディスカッションでは何も会話が無く終わってしまったことがある。また顔出ししているときでも、人によって通信環境がバラバラなので音が聞こえにくい人がいたり、何人かが同時に話すと誰が何を話しているのか全く分からなかったりととても円滑にコミュニケーションがとれたとは言えない状態だった。
- ・始めのうちは、グループディスカッションでの会話もなかなか話をしにくかったですが慣れました。
- ・板書はしやすかったが、先生とのやり取りや生徒間のやり取りはやりにくかった。質問をしたくても一方的にミュートにされているので声を出して質問することができなかった。また、学生間だと顔を出さないで会話をするのでリアクションがわからず、不安になる時があった。
- ・先生の使うマイクの質が悪位のか、ノイズが入って聞き取りづらいことがあった。他の学生とのグループワークは沈黙が長くなり、スムーズにできたとは言えない。
- ・通信環境が悪い時にペア活動があったときは、相手に迷惑をかけてしまったなと思っています。
- ・個人一人をアップにしてみることがzoomではできないので、画面越しにホワイトボードなどに板書を書かれてもとても見えづかった。
- ・先生の好みで生徒への対応、評価が違うのがわかる。成績は平等にお願いしたい。
- ・ラグが発生し、聞き取れない場合がかなりあった。
- ・オンデマンドの場合、一時停止にしてノートがとれるのがとても良かったです。
- ・インターネットの接続が悪く、ZOOMだと先生の発言がととところ聞き取れなかった。

- 
- ・zoom のとき、音声ではなくコメントで指摘してください、と頼む先生が何人かいらっしゃいましたが、コメントを送っても大抵気づきませんでした。なので、音声による指摘、質問も許してほしいです。
  - ・他の学生との交流をあまりもつことができなかったことが残念です。
  - ・対面でもありがちだが、ビデオ通話でのディスカッションに全く参加しようとしないう学生やる気のなさが対面以上に悪目立ちして他の学生に悪影響を与えていたように感じた。Zoomでは教員が全てのブレイクアウトルームに同時に顔を出せるわけではないので、このような生徒がいた際には教員不在時のルームでの議論に滞りがあった。
  - ・これについては履修していた科目が少人数且つリアルタイム配信であった授業の場合はしっかりやり取りを教授と行うことができましたが、大人数である場合とリアルタイムでない場合は全く誰ともやり取りをすることができませんでした。
  - ・他の学生とのやり取りはあまりなく教授の話のみで聞く形になってしまっていた。

(6) 【設問VI】 自由記述

- ・レポートでの成績評価が多いので提出物が多く大変ですが、通学時間がないのであまり苦ではありません。
- ・期末が近づいて一気に課題の量が増えた。履修の関係上仕方ないと思うが、前期履修を選ぶ時点では想像もできなかった程の量なので後期は配慮をして欲しい。
- ・テストが全く行われず全ての授業での期末評価がレポートになってしまったため、膨大な量のレポートを書かなければならなくなったので、後期ではどうにかテストが行えないか検討していただきたいです。
- ・面倒だなと思うが、比べようがない
- ・課題と同様にちゃんと送信、受理されているかが分かりにくい部分があった。
- ・とにかく課題が多すぎます。平日毎日課題が出るうえに、何日かにわたって 同時にいくつかのプレゼンの準備をしなくてはならなかったり、1, 2 週間先の同じ期限に提出するレポートが何個もあったりするので、平日も休日もまともに休めないです。
- ・オンラインとは関係ないが、レポートを書けと言われてもどういうものかわからないので去年の例やサンプルなどを示してほしい。
- ・提出課題が多すぎる。適切な評価を得るために過剰な課題を出すことは、かえって生徒たちの学習意欲を削ぐことになる。課題に追われ講義そのものが疎かになるなど本末転倒である。教授は生徒が自分の講義しか受けていないとも思っているのか。こんなものは自立した学習といえない。生徒は疲弊している。
- ・多くの授業で長文記述式の課題が提示され、全体的に課題の量が多いと感じた。教師側はオンライン授業が対面授業よりも楽だと思っているのか、課題の量を増やす傾向がある。期末試験が実施できないこともあり、ほとんどの授業が期末レポートで成績をつけるため期末課題も多い。教師は、その事を考慮した上で課題の提示を行ってほしい。
- ・対面の時に比べてレポートに比率が偏りすぎており、期末は課題に追われる毎日であった。
- ・順調ではあると思うが、レポートの数が多すぎる。テストを行う先生もいらっしゃったが、問題なく行うことができた。レポートの数が本当に多すぎると思う。仕方ないことなのかもしれないが、書かなくてはいけないレポートが多いのに、それだけで評価が決まるのはどうかと思った。アメリカ研究入門の授業はテストを行ったが、3 回に分けて行われたので負担が少なかったし、やり方も明確で良い方法だと思った。
- ・オンライン授業の欠点としてよく聞きますが、課題が多すぎます。私はそんなにとっている授業がないのに、課題が多いと感じたので、1, 2 年生はもっと大変だと思います。家にいるからやる時間があると思うのかもしれませんが、一人暮らしをしている私にとって、バイトをしないと生活できないですし、5 月ごろからは就活も始めているので、時間が足りずに大変苦労しました。
- ・レポート課題が多いため期末期間が極端に忙しい。最終課題のクオリティが満足できないものになってしまっている。
- ・課題が多い分、やや難易度が落ちていたため、学習の定着という意味では怪しい部分が多い

---

と思う。

- レポートを免除する科目も見られた。GoogleForms でのテストは受けやすかった。
- 全て終わっていないが、順調。
- 先生が柔軟に対応して試験方法を変えてくださった。
- テストが行えないため、レポート課題が大変多い。また、同日の締め切りの課題も多かったため課題をこなすことが対面授業に比べ大変であった。
- 様々な科目のレポートがかさみ、うまく時間がとれなかったです。通常の課題の量がわからないのですが、私個人としては課題の量が多いと感じました。基盤科目の自然科学の科目の課題が量も多く、内容も難しく文系の生徒にとっては回答が困難なものが多かったように感じます。自然科学の科目は専門的になりすぎず、もう少し知識を教えるという程度の内容であって欲しいと思いました。
- あまりにも課題が多すぎる。課題でしか評価できないから仕方ないのだろうが、こちらの生活も考えてほしい。バイトとの両立など到底無理だった。オンラインでの講義で内容が十分に理解できていないというのに、一丁前に課題は山盛り出してくる。正直何個か提出をあきらめたものがある。
- そもそも試験ではなく、全てレポート課題であった。にも関わらず、毎週の授業で課題が出され、そのほとんどが本日中という制約つきのもの。正直、課題に追われてそれ以外のこと全てが億劫になる前期だった。
- 量がとても多くて期末である現在も一日中課題や授業内発表、試験のための準備に追われているが、1年生で通常時との比較ができないため何とも言えない。
- ほとんどの授業で例年より多い課題が出され、学期末は苦しい。
- ほとんど全ての授業がレポートになり、同じようなタイミングで課題を提示され同じようなタイミングで締切りがあり大変だった。
- 図書館になかなかいける状況では無いため、レポート資料を集めづらかった。
- 運よく試験に参加できたが、時間制限のある試験で通信トラブルが発生したらどうしよう、と不安であった。
- 私の受けた授業に関しては問題なかった。
- 教員の指示が曖昧だった
- 提出期限に対してレポートの量が非常に多く、夜中まで取り組むケースが多々ありました。また、1年生であるため課題の確認が取れる友人が少なく、その上、教授からのフィードバックが無いので、毎回不安を感じていました。
- 急にレポート課題を提示してその提出を3日後や4日後に指定しないで頂きたい。特に××と××(××学科)の××、××教授の授業は本当に酷く、次ターム以降で履修希望する知人がいれば避けるように警告したいほどに酷いものだった。
- 1年生なので標準的な課題の量が分からないのだが、毎回の出席を課題を出すことで認める授業も多かったので、大変だった。
- 提出は楽だった。でもレポートは提出までの時間はしっかり確保してほしい
- レポートの量が多すぎる
- たまにアンケート形式の小テストが行われましたが、たまに不明なエラーが出て中断せねばならず、答えを教授に直接メールで送信することになってしまったことがあった。
- 課題が多すぎる。第一タームが終わった後、アンケートでこういった反応が多かったはずだと思うが、全然変わっていない。しっかり、こういった情報を共有していただきたい。
- レポートのみでした。WEBCLASSの回数制限のあるレポート提出は、けっこう緊張しました。レポートではなく、リアクションペーパーだったのですが、作成前に開いてしまって、閉じることができないので、慌てて書いて送信しました。

#### ⑦【設問Ⅶ】自由記述

- 2タームの授業に関してはまだなんとも言えないが、課題やレポートに対するフィードバックがほとんどの授業で得られていないので、一体何を学んでいるのかだんだんわからなくなってくる。

- 
- ・定期的な小レポートやコメントに対するフィードバックがなかったので本当に自分は授業を理解できているのか不安になった
  - ・課題の成績非公開の授業がほとんどであるため、どのように評価をされているかわかりません。
  - ・フィードバックはなく、ほとんどの課題が一方向的に提出して終わりだった。何を改善すればいいのかわからないし、課題が自分の身のためになっている実感が全くない。
  - ・そもそも自分個人に対するフィードバックが返ってきた事はほとんどない。特に中間・期末試験に対するそれは一度も返ってきたことはない。
  - ・レポートに対し詳細な評価のない場合が多い。
  - ・レポートを提出したときに、「受け取りました」という確認メールが自動で出る先生と出ない先生がいます。ちゃんと提出できているのかとても不安なので、できればすべての先生に確認メールをお願いしたいです。
  - ・第2タームの評価が分からないため、まだ何とも言えないが第1タームは特に問題はなかった。
  - ・レポートのみで判断されるのはいかなものかと思いました。オンライン授業のみで内容を理解し、かつ十分に図書館も利用できないため、文献を沢山取り入れることもできず、学生が恵まれた環境で勉強できていない状態でのレポートで成績を評価されても、と正直思いました。ただ、こういった状況でテストを実施するのは難しく、しょうがないのかなとも思います。
  - ・誤送信してしまった課題に関して、指摘が曖昧のまま評価対象から外されてしまった。インターネットを介してのファイルの送信に慣れていない為、間違ったファイルを送信してしまうことに理解が欲しい。
  - ・フィードバックを頂ける授業とそうでない授業があった。評価の理由を教えていただけると次に生かすことができる。
  - ・評価はまだ来ていない。しかし、個人的にメールや質問をして丁寧に返してくださるのでありがたいです。
  - ・まだ最終評価は出ていないので分からない。中間レポートや課題についてはどの授業でもフィードバックがあった。
  - ・自分のレポートがどう評価されているのかわからず不安でした。
  - ・稀にですがメールで提出したレポートへの返信がなく、届いたか不安になりました。
  - ・他の生徒の出来も全くわからずに出したはじめてのレポート・記述試験等がどのように評価されたのか分かりにくかった。例えばレポート課題なら評価項目を簡単でいいので提示していただけるとやりやすかったように思う。
  - ・課題に対してフィードバックや評価が帰ってくる授業はほとんどなかった。自分の書いたレポートが適切なものかどうか知りたいし、適切でなければ訂正して次につなげたいので行なって欲しい。
  - ・遠隔授業のせいか、成績評価の課題の配分がとても大きく、出席確認を取っていない授業もあったため、出席せずとも単位をもらうことができるというのは不公平に感じた。また、先生によって評価の厳しさが全く異なるのに、GPA等は全員同じ物差しで測られるため、もう少し平等にしてほしいと思った。
  - ・フィードバックをくださる先生は少ない。おそらく成績を見るまで自分の出来は全くわからないままだと思う。できているつもりで書いていたが実は見当違いのことを書いていたというケースが怖い。もし間違ったことをしていたり誤解していそうな回答があったらすぐに伝えてほしいなと思った。そうしてくださる先生もいた。
  - ・レポートを提出してもフィードバックがなく、評価がどうなっているのかわからずとても不安だった。
  - ・ほとんどの授業でフィードバックが無かったように感じます。
  - ・教授もお忙しいことを考慮すると、仕方がなかったことだが質問をコメントペーパーに書いても何も答えが返ってこないのが腑に落ちない感じがした。
  - ・レポートの受理に関する連絡やフィードバック等はいただいたが、期末評価はまだ来ていま

---

せん。

- ・レポートのフィードバックが無い先生もいらっちゃって、感想だけならよいが、授業内容の確認のレポートは答えが合っているか、不足していないかなどのレビューが欲しいと思っていた。丁寧にフィードバックしてくださる先生もいらっしゃいます。
- ・授業のコメントを書く際に質問しても返答しない先生が多く、未消化なままの疑問がいくつかある
- ・評価が出ていないのでまだわからないです。
- ・学期途中の成績評価はどの授業もなかったため、自分の今の立ち位置が示せず指針がわからなかった。小テストや小レポートの成績開示は行ってもらいたい。
- ・レポートの課題やテストで成績を開示しなかったら、一歩も成長しない。成績を付けるためだけに、課題やテストをしないでほしい。
- ・通信教育型で、毎週課題の評価があったのですが、間違っている、考えたことを評価してくださったみたいで、とてもやる気になりました。
- ・私はいま（成績的に）どのような状況にあるのかわからないことが不安でした。
- ・期末評価がまだ出ていないので、何とも言えない。だが、どの授業でも、前回の授業の質問などフィードバックを行ってくださり、とても助かった。

#### **(8) 【設問VIII】 自由記述**

- ・埼大は他の大学よりもオンライン授業への移行が早く発表されたので準備しやすかったです。また、ライブソフトが1本に統一されていてわかりやすかったです。（他の大学ではzoom以外で授業をする先生もいらっちゃったみたいです。）
- ・Zoomをインストールするためのアクセス先を連絡してくれたことなど。
- ・問い合わせをした時に、大学側の手違いなのにこちらが疑われて気分が悪かった。
- ・問合せはしていません。
- ・助かりました
- ・先生によって使うアプリケーションが違うことがあり、統一してほしいと感じた（zoomの招待リンクをメールで送る人と、ウェブクラスに載せる人など）。
- ・上の自由記述にも書いたように授業資料のメールが送られてないことがあるのでそれはどうかしてほしい。
- ・特に不満なのは、留学関連の説明会がとても十分に行われているといえない点である。4月中旬の動画だけでは、個々の留学先の大学の情報が全然入ってこない、本当に留学できるのかとても心配。
- ・学生webシステム、webclass、シラバス、大学用メールなど確認すべきツールが多くて少し大変。
- ・事前の準備や電話でやり取りができたので問題はなかった
- ・教養学部係に問い合わせのメールを何度かしましたが、早急に対応していただき、とても助かりました。ありがとうございました。
- ・以前のように、履修はせずに講義を聞くだけというスタイルが不可能になったことが残念でした。
- ・ほとんどパソコンの使い方がわからない私でさえ大きな問題なく進められたのが良かった。おそらく情報基礎をとっていたことが、オンライン授業がスムーズにいった理由だと最近感じ始めた。
- ・家庭のWi-Fiの接続が不安定である旨を連絡したところ、翌々日には貸し出し用ルーターが届き、非常に迅速な対応のおかげで授業に集中して取り組めるようになった。
- ・事務的サポートを受けていないのでわからない。
- ・丁寧だったと思う
- ・システムの問題で質問した時に対応が早く、本当にありがたかったです。
- ・メッセージ機能でメッセージを送っても1週間後など遅くに帰ってきたことがあった。
- ・印刷を各自しなければならないのが、費用的に厳しかった。
- ・シラバスではオンデマンドで行うと書いていたのに、予告なくzoom授業に変更する方がい

---

たので、変更するのであれば1週間前から報告してほしいです。前日に予告なく zoom の URL を送られても困ります。

- ・学期初めに提示された受講準備に関する資料が理解しやすかった。
- ・質問を私がさせていただいたときにすぐに、そして丁寧に返答してくださったので感謝しています。

**(9) 【設問IX】 自由記述**

- ・××と××（××系）第9~11回の授業で、高校時に物理を履修していない文系の人を全く無視した専門的な授業が行われ、授業を聞いていても課題レポートでは問題文の意味もわからない状態です。オンラインでは友達に尋ねることもできないためどうすれば良いのか全くわからず精神的に参ってしまっています。
- ・身体的不調に関してですが、長い時間 PC の画面を見ているため、目が疲れてしまう時があります。
- ・精神的不調に関してですが、まず普段話せる友人がまだ出来ていないのは少し辛いです。ただこればかりはコロナ禍のご時世、致し方ないことだと思います、我慢しています。  
因みに、学生が主体となってズームなどで交流会・勉強会を開いている例が過去にありました。大学等でも、何らかの形で開催していただけるとありがたいです。  
次に課題に追われている感じがして焦りを日々感じています。一部の先生の中には、遠隔授業だから課題をたくさん出しているのではないかとも思われる人がいらっしゃいます。しかし余りにも沢山の課題を出されると、各レポートに割く時間が短くなり、クオリティが下がってしまうことも考えられます。こちらとしては課題には真摯に取り組んでいくつもりですから、課題の量については、再検討をよろしくお願いします。
- ・多いときで全ての講義で同時にレポート課題が課され、寝る間を惜しんで提出しました。
- ・長時間椅子に座っていると背中から腰、臀部にかけて痛みが出る。授業間の休憩時間に少しでも動くとも多少変わる。
- ・ライブ授業でカメラ ON に
- ・課題に取り組むモチベーションがあがらない。他学生と授業前後などに会話できないのでつまらない。
- ・目が疲れたり、肩こりがする。テストが無い分、コメントペーパーやレポートが多くて、平日はもちろん休日もいつも何かに追われている気分がして気が休まらない。
- ・学校開始直後にあったモチベーションも日に日に下がってきている。毎日が授業、課題の繰り返しのため、思考の片隅には常に課題があり、趣味も楽しめていない。
- ・ずっとパソコンを使用しているため目が疲れ、肩も凝りやすくなりました。また、一人暮らしでサークルにも参加していないため、課題や遠隔授業でずっと部屋に閉じこもっていることが多く、気分が沈み込みがちです。
- ・人と会話をする機会が無く、友人が出来ない。
- ・長時間パソコンに向かい、座って受講していることと講義が終わっても課題があるので眼精疲労が辛い。あとは眠れなくなった。
- ・座っている時間が長く、腰が痛くなる。
- ・分からないことがあった時に周りの人や友達に聞けない、パソコンをずっと見ていると目が疲れてしまう。
- ・睡眠不足、アルコール、カフェイン依存、栄養不足
- ・いつまでパソコンと向き合っていなければいけないのかとても辛いです。小中高校生が学校に行き、大人も仕事している状況で、なぜ大学生だけが遠隔授業にしなければいけないのか説明してほしいです。
- ・大量の課題のため寝る前までパソコンと向かい合っているため、睡眠時間の確保や質のいい睡眠がとれず、正直疲れがたまっています。
- ・眼精疲労とそれに伴う頭痛と肩こり、首こりがひどいです。自分はブルーライトカットの眼鏡を使用しているのですが、それでもかなり疲労感があります。また、私の要領が悪いのが最たる原因かもしれないのですが、課題が多く睡眠に支障をきたしています。

- 
- ・大学の人と会えなくて、ずっと家にいるので、気持ち的につらいし、頭痛を感じます。あと、ストレスからなのか、家でよく愚痴を言ったり、叫んだり嘆いたりしています。この間、眼鏡屋で視力を測ってもらったらもちろん視力は下がってました。後期もオンラインと決定してしまったので、より視力が下がることは目に見えているので怖いです。
  - ・なぜサークル活動や大学生の飲み会等は黙認されているのに、『対面』形式の『少人数』授業は認められていないのか甚だ疑問。
  - ・長時間パソコンの画面を見続けるせいで、目が疲れて視界がぼやけたり、頭が痛くなったりします。また、友達がいないので、寂しいです。
  - ・肩こり、腰痛、視力の低下がある。
  - ・憂鬱な気分が続きます。
  - ・画面を見る機会が多いからか、目が疲れる、視力低下、肩こりなどがよくあります。
  - ・課題を相談することもできず、一人暮らしで毎日鬱で死にたいです
  - ・私自身は大丈夫であるが、鬱になっている人がいてもおかしくないほど、「真面目に受ければ受けるほど」辛い状況なのではないだろうか。
  - ・長時間パソコンを見て講義を受けていることや、たくさんのレポートをパソコンで作成していることが原因で、視力の低下や身体の不調が起こっている。
  - ・目の疲労、運動不足、集中力の低下、孤独感、閉塞感があった。
  - ・目が疲れる 人と会わないが故に鬱っぽくなる
  - ・液晶を見る時間が長いので、眼精疲労がある
  - ・1日の大半を自分の部屋で過ごすので、気が狂いそう。
  - ・画面を長時間見ないといけないので目が疲れる。
  - ・画面を見ている時間がとても長いので、視力がとても心配です。授業だけでなく、レポートも全てパソコンでやっているので目がとても疲れます。
  - ・目や首に疲労が溜まる、体力が低下するなどはあるが大きな不調は今のところない。
  - ・特にないが、ずっと家にいることでストレスは感じる。日中は家族も家にいないため話す人もいないため人と触れ合う機会をもっと欲しい。
  - ・目が悪くなったこと、姿勢が悪くなったことが挙げられます。あとはやはり他の学生とのかかわりが無かったので、孤独感があり、授業を受けていて楽しいという感情は湧きませんでした。
  - ・腰痛と痔になってしまった。
  - ・不調ではないが、授業の進め方等のわからないことを直接先生に聞く機会がないのは不安が大きい。
  - ・大量の課題、友達できないために感じる不安、などによる大きな精神的ストレス
  - ・地方から上京してきた地方出身の学生です。主なコミュニティーは専修内での友達、働いていたバイト先も新型コロナウイルスの影響により無期限出勤停止となり、一人暮らしのために人と会うことが全く無くなりました。実家に帰るにも無症状保菌者である可能性が拭えないため、地元でのパンデミックを避けるために1人でずっと在宅の暮らしを半年近く送りました。
  - ・一日中一度も声を発さず、誰とも話さず淡々と授業と課題をこなす日々でした（発言をするのはゼミくらいです）。1人でウイルスにかかった際どうしたらいいかわからない恐怖、誰にもその悩みを実際に会って共感してもらえない寂しさは日常的生活において常につきまとう不安であり、対面授業では同じ授業を受けている友達と授業前や授業後に交流をする機会がありましたがそれもなく、また対面においては教授に質問がしやすい、議論の場においても発言がしやすいはずが zoom においては混線により発言が被ってしまう、誰かが発言するのを待つような空気感、誰かがビデオ画面に切り替えないと他のメンバーも切り替えづらいという微妙な空気の読み合い。全てがストレスでした。
  - ・また、大学に行かなくなったことから体調管理もおろそかになりました。大学に行く際は授業の1時間前に起きて準備をする、というようなルーティーンが確立していましたが、今ではパソコンを開けばすぐに授業を受けることができてしまうため、授業の5分前に起きる、あまり頭も働かないまま眠い中集中せず授業を聞き流してしまう、最悪寝てしまうことがあ

- 
- りました。
- ・更に出される課題も膨大であるため、朝授業ギリギリに起きて夜は課題のために朝の4時まで起きるというような生活が根付いてしまいました。
  - ・それら精神的ストレスやルーティーンの流れによる身体への負担により、月経不順や慢性的な下痢などの身体的な症状にまで出始めました。
  - ・あと半年もこのようなオンライン授業が続くと考えただけで耐えられません。
  - ・授業もレポートも全てパソコンと向き合うため、それだけが原因ではないが視力が大幅に低下していた。また、これも個人的な感想だが対面の方がストレスが少ない。私にとってはオンラインでずっと向き合っている方が疲れる。授業終了後にどっと疲れることが多くなった。
  - ・目がとても疲れる
  - ・大学生活最後の1年の授業にも関わらず、大学に行けず、直接友達と意見を交わせないため、大変つまらなく感じる。授業に対するやる気がここまで出ないのは初めて。今までは授業以外にやるべきことがあって大変でも頑張れたが、今回は一切頑張る気が起きなかった。
  - ・対面式より目の疲れがある。課題や授業について気軽に友人に聞けないのも少し不安になった。
  - ・著しい視力低下・疲労感
  - ・ブルーライトを浴びすぎて、目が疲れ、視力が低下しました。ブルーライトカットフィルムをつけると疲れが軽減されたので、学生の人にも周知して欲しいと思います。
  - ・遠隔授業による課題の増加が生活を圧迫し、バイトとの両立をしようとしてここまで死に物狂いでやってきたが、今からちょうど1週間前に、疲れとストレスが原因で帯状疱疹を患い、その合併症として38度以上の発熱と頭痛が5日ほど続いた。もちろんその間も授業の課題はたまっていき、正直今から始めたところで間に合いそうにない。
  - ・私は母子家庭で、金銭の仕送りは一切もらっておらず、学費や一人暮らしの生活費もすべて自分で稼がなければいけなく、課題が多いからという理由でバイトの量を減らすこともできなかったのだ。
  - ・昨日から症状がだいぶ回復し、約1週間寝込んでいたため、1から期末の課題に取り組み始めたが、締め切りに間に合わせるためには内容を薄いものにしなければならず、今まで必死こいて頑張ってきた結果がこれかと思うと悔しくてたまらない。
  - ・後期は今よりも課題が少なくなればいいな。
  - ・もう全てにつかれた。
  - ・1日中パソコンに向かっているのでも目の疲れや体の凝りを感じるが多い。
  - ・知らない土地での初めての一人暮らし、外出自粛、初めての大学の授業等の影響でさまざまな不安や孤独を毎日抱えているが、遠隔授業によって外に出歩く機会が減少し大学の知人もできないことが、それらに拍車をかけてしまっている。
  - ・授業も課題もすべてがパソコンで行われるので、正直疲労感をすごく感じます。また、気軽に近くにいる友達や先輩に聞いたりできない環境も、すごく不安に感じます。
  - ・肩こりと目の疲れ。講義を履修している人や先生と直截させないことにより疑問点が解消しにくい。
  - ・通信環境が悪くなるが多々あるため、毎回その心配をしなければならず、精神的負担になっている。
  - ・遠隔授業自体ではなく外出自粛ということもあるが、レポートの課題が増えて、部屋に籠もりパソコンと向き合っただけで、精神的に少しづつ、身体的にも運動不足などがあり健康的ではなかった
  - ・一人暮らしを始めた最初のころは精神的につらかったこともあり、何度か授業を休んでしまった。しかし、慣れてくるにつれて授業に関してマイナスの気持ちはなくなっていった。
  - ・授業だけでなく、課題も多く出されるため一日中パソコンと向き合わなければならなくなり、目の疲れや首肩あたりの痛みがでた。
  - ・ブルーライトの見過ぎで値付けが悪くなり、眼精疲労がひどくなった
  - ・目の疲労が大きいです。

- ・楽しみにしていた大学生活が誰とも会わずにただ授業を見ては課題をこなすだけの日々になるとは思っていなかったので毎日毎日本当に辛い。
- ・前期頑張れば後期は大学に通えると思っていたので後期もオンライン授業と聞いて本当に落ち込んだし、これから何をモチベーションに生きていけばいいのかわからない。2年時以降の専修決定にも気軽に相談できる人もいないので不安だ。
- ・大学から新しい通知が来ているのを見るたび不安になる。
- ・軽度の疲れ目、緊張からの腹痛（zoomだと人の顔がよく見える、発表やディスカッションが多いことから来たと思います）
- ・ずっとパソコンを見て授業を受けたり課題をしたりしていると、週の真ん中であり授業が4コマあった水曜日に目・体に疲れがよく出てしまいました。
- ・目が悪いので、長時間授業でパソコンを見た後にパソコンで課題をやるのがつらい。朝起きた時点で、アレルギーで充血していたり勝手に涙が出てくる状況の時もあったので、そういう時のパソコン授業は追い打ちだった。
- ・一日中、座りっぱなしなので、つらい。また授業前後にするような友達と何気ない会話をする機会がなく、レポートのつらさを共有したりすることができず、精神的にハードだった。
- ・どれも若干だが肩こり、腰痛、目の疲れによるストレス増など
- ・遠隔授業は仕方ないことが、遠隔授業だからって楽とは考えないでほしい。
- ・目の疲労
- ・目が疲れる
- ・ビデオオンの状態だと全員にみられている感覚があつて不調を感じた。
- ・圧倒的に孤独でした。みんなどう解決したのかな。
- ・長時間の画面の注視や、オンライン授業によってインターネット上での課題が増えたことなどによって、目の疲れやそこからくる肩こりや頭痛が増えた気がする。また、zoom上でのグループワークや発表などでの初対面の学生との会話や、全員に顔が見られているということが個人的にとっても負担であった。
- ・こちらが回線おちをしったり、音声にラグがあつたりで、遅れて先生に何をおっしゃっていたのか質問するときがあるのですが、「人の話をよく聞いてないんですか」など理不尽な言い方に憤りやストレスを感じます。zoomで授業を行うならどのようなトラブルがあるのか理解していただきたいです。
- ・視力が低下したと思います。
- ・家で授業を受けているため集中しにくく、また画面を見続けることへの身体的疲れや遠隔授業が続くことへの精神的ダメージがあった。
- ・視力が悪くなったり、肩こりが悪化したりという不調がある。

#### (10)【設問X】自由記述

- ・チャット機能で気軽に質問できるのは良いと思いました。しかし、テストでの成績評価が難しく、レポートが多くなってしまうのは少しつらいです。
- ・メリット・移動が少ない、授業の準備を短時間で済ますことができる デメリット・グループワークがやりにくい（複数人の発言が重なってしまうことが多発）、家庭環境により集中を削がれる場合がある（実家暮らしのため、授業中も自分以外の誰かがいる）
- ・利点：通学時間の有効活用ができる、1限目の授業に参加しやすい、チャット等で質問しやすい、黒板やプロジェクターよりも板書や資料が見やすい、ペーパーレスなど。欠点：通信環境に左右される、音声での質問は場の空気が掴みにくく発言しづらい、チャイムがなく授業時間が超過することもある、長時間画面を見ることで疲れやすい、カメラ・マイクがオンになると雑音など余分な情報が入ってきて集中しにくいなど。
- ・対面の授業を受けたことがないから比較できないが、やはり直接会って学生、先生と同じ空間で学びたい。
- ・対面授業への関心は強くなりましたが、遠隔授業はいいものです。
- ・授業によっては、課題を生徒に丸投げしたり、どうしてその字数なのか理解ができない課題も出される。もし、後期のオンライン授業の課題が慣れを理由に増やされるのならば、学び

---

に対するモチベーションが相当下がると思う。

- まだ大学の対面授業を体験したことがないのでわかりませんが、わからないことがあっても友達と議論することができず、ずっとひとりで考えなくてはいけないのが少しつらいです。遠隔で先生方も努力してくださっているのはわかりますし、理解が深まっているのか確認のために課題を課しているのだと考えてはいますが、課題の量が少し多いと感じました。
- 座学の講義とレポートばかりに限られてくるので、授業の場で学べることは減ったかと思います。
- 対面授業を受けていない、というのものもあるが対面だったら授業中に考えたことを友達と共有したり、教授に聞くことができたのではないかと思います。
- SNSで先輩らの話を聞く限り、課題が増えているようなので対面講義でできない分を課題として提出するのは分かるが、いささか多いのではないかと。平常時ならば空いた時間で来年の専修の参考になるような勉強や読書ができると考えられるがこの状況では課題でそれもできず、仕方のないことだが登校できない大学に入った意味とはと考えてしまう。
- 対面授業を経験したことがないので分からないが、他学年、他学校の学生の反応や自身の体感として、課題が多すぎるように感じる。課題で分からないことがあってもメールでは相談しにくく、協力できる相手もいない。本当に自分の身になっているのかも分からない。
- また教授によって連絡手段が webclass であったり埼玉大のメールであったり教務システムのメールであったりとさまざまであるため、非常に分かりにくい。特に、授業や課題に関する重要な情報を各教科そのような形で送られてくると、確認が大変であるため、統一してほしい。
- 人の目がある方が、真面目でいられるなあと思いますが、オンラインの方が発言はしやすいですし、一概には言えません。
- 1年生で比較ができないので分からないが、やはりわかりづらいところはあると感じる。
- 対面を経験していないため分かりません。
- 大学に入学して4か月近く経ちますが、まだ大学の人たちとの交流がありません。なので、小規模でもいいのでなにか学部生同士で交流を持つ場を設けてほしいです。
- 私は1年生で対面授業を受講したことがないのでよく分かっていない部分も多々あるのですが、先輩方（ほんの一部ですが）のお話を聞く限り、やはり相対的にも対面と比較して課題の量が多いように感じます。課題のみで単位を認定する授業もあり、負担がとても重いです。提出してもフィードバックは一切なく、また友人と協力したりするのも難しい状況なので学習へのモチベーションも地に落ちています。どうか改善のほうよろしく願いいたします。また、対面授業と同じ金額の学費を払うことに不満を持つ学生が、私含めたくさんいるようなので、減額などの選択肢も含めてご検討いただければ幸いです。
- 私の中でオンライン授業のいい点は通学時間を考えずに授業を受けられるという点しか見つけられません。課題はほんとに多すぎるし、大学の人とまともにコミュニケーションがとれない、課題に関して不安なことを分からないことを直接共有できない、大学で講義を受けられないといったことがオンライン授業であります。特に、先生方は生徒に対しての課題が多すぎることを分かっているのでしょうか？先生方が互いにしっかり情報共有をしてもらって授業ごとにどのくらいの課題が出されているか把握してもらいたいです。後期もいまのように課題が多いというのは本当にやめていただきたいです。
- わざわざ学校に行く必要がなくなったのは便利に感じましたが、課題の量が多いように感じます。オンラインだから楽だ、という考えをお持ちの教師の方が一定数いらっしゃるように感じるので、改善していただけると幸いです。
- まずもって課題が多すぎる。自分は一人暮らしをしているため、生活費を賄うために働く必要もあるので、授業内容を深めるための文献を読んだり、留学のために語学の勉強をする時間もほとんどない。
- ××と××（××系統）の授業に対して特に不満を持っている。シラバスには、「文系学部の方々にも学問の面白さを…」とか書かれていたが、実際に行われているのは、高校で物理・科学を学んだ人ですらも頭を悩ませるような、まさに教授の自己満足的な内容であり、出されるレポート課題ももちろんその授業内容に準拠しているため、内容がとても難しく、ほと

---

んど身につかない。(課題の量も1週間にwordファイル4~6枚ととても多い)

- ・通学時間が入らないのは良いが、web上のトラブルが多かった
- ・対面授業を受けていないのでわからないが、学費が同じなのは納得いかないところがある。
- ・学習の向上が落ちました。
- ・対面授業をまだ受けたことはないので一概には言えませんが、新型コロナウイルスの影響を把握し、早めにその対応としてオンライン授業を決定したのは地方に住んでいる私にとってありがたいし、いい対応だと思いました。改善してほしい点は、オンライン授業での課題の量です。毎回授業後にA43枚程度のレポートを出す授業もあり、他の講義でも課題がある程度出されることも考えて量を決めてほしいと思いました。
- ・対面授業になったら文句言うかもしれないけど、家にこもって延々と課題をやる日々は辛い 課題を減らしてほしい 対面授業にしてほしい でないと鬱でどうにかなりそうです
- ・対面授業が実現不可能なのは仕方がないと思います。しかし、生徒たちがSNS等で情報共有をしていることを前提に講義を進めるのはおかしくないでしょうか。以前、教授側の不備でzoomに百人以上入れないことがありました。そのとき教授は、入れなかったものはメールを送るよう生徒間で情報共有しなさい、との旨をおっしゃいましたが、明らかに不適切な措置です。一年生の私たちは、まだ一度も直接顔も合わせていない人と授業を受けています。連絡先をSNS以外で知る方法はありません。SNSを強制的にでも初めて学内の人たちと情報共有すべきだというなら、どうぞ学生に一斉送信メールでも送ってください。
- ・また、教授間での情報共有は行き渡っているのでしょうか。なぜ長期間に渡ってオンライン授業となることがわかっているのに、教授によって課題の提出、メールの送信場所、zoomのURLを提示する場所が違うのですか。教授たちへのマニュアルを作成していないのならば、早急に作成し、オンライン講義のスタイルを画一化すべきであると思います(zoom, オンデマンド, 通信制ごとに)。
- ・課題については、上記している通りです。学習意欲がないから減らしてほしいわけではありません。本来あるべき形で学問と向き合うために減らしてほしいと言っているのです。検討してください。
- ・生徒たちはいつまで混乱すれば良いのでしょうか。先が見えない毎日に、私たちはただただ疲れています。
- ・正直な話、画一化など無理な要求であることはわかっています。しかしこれが学部一年生の正直な気持ちであることを、わかったいただきたいです。何卒よろしくお願いします。いつもありがとうございます。
- ・講義形式のものはオンラインでも構わないが、演習などのコミュニケーションを要するものは対面で行いたい。人と話す機会が格段に減ってしまったため、孤独感がある。大学にはぜひ対面授業とオンラインを両立させるような授業方式を行えるよう努力していただきたいと思う。
- ・対面のほうが集中できる
- ・やはり画面を見ている時間があまりにも長い気がします。授業だけでなく、レポートやメールの確認などとにかくやることがたくさんあって、なかなか休めません。これがあと半年続くのかと思うととても憂鬱です。土日に気分転換をしたくても、授業の予習復習、課題などで気づくと一日終わっていることがほとんどです。
- ・絶対的に見ると悪くなかったが、対面と比べると劣後することは否めない。
- ・講義形式のものはオンラインの方が集中できる
- ・ディスカッションがオンラインだとスムーズに進まない、実際に話したい
- ・満足している授業もある。しかし、対面授業に比べて質が落ちていると感じる授業もあった。オンデマンドの授業だと、80分という決まりを守らない授業がいくつかあった。オンデマンドでも時間内に受けようと思っていたので、非常にやりにくかった。また動画自体は80分以内に収まっていたても、書く量が非常に多く動画を止めないと書ききれないものなどがあり、80分で収まらなかった。授業は80分で時間通りに行ってほしい。また、ライブの授業で授業時間を毎回延長しているものもあった。

- 
- ・ライブの授業で ZOOM を使い、その中でブレイクアウトルームでディスカッションのする際、全く発言してくれない学生がいて非常にやりにくいことがあった。
  - ・授業に関する連絡が色々なところから来るのが分かりにくかった。Web Class で統一するなどしてくれたほうが、見落とししたり、間違って送ったりすることが無くていいと感じた。
  - ・やはり、課題の量が多いように感じます。オンラインで家にいる学生には出来て当たり前の量なのかもしれませんが、今現在課題に追われすぎてストレスになってしまう程です。そのため、課題の提出方法を変えるなどの改善をしてもらえると嬉しいです。
  - ・学校に通う必要がないのは、助かる。
  - ・オンライン授業にはもちろん利点がありますし、こういった状況であるとしようがないと思っています。大学側も難しいだろうということも理解しております。ただ、人数制限をしてもいいので、対面授業を少しでも増やしてほしいです。明らかに授業の質も、私達が勉強をする環境の質も下がっていますし、家にいる時間が増えたことで生活費も増え、金銭的な面であまりにも私達学生の負担が大きすぎると思います。この授業形態で同じ金額の学費を払わないといけないのは納得いきません。大学独自の給付金や、国からの給付金は、私は幸運にもバイトが続けられていることもあり、受け取りの条件を満たさなかったため、もらえませんでした。しかし実際は、お金の負担が増えていることは確かですし、少しでも学生のために学費を減らしてほしいです。加えて、先生たちも慣れないことで大変だとは思いますが、私達学生も慣れない授業方法に頑張って順応し、授業を受けているので、後期では学生から挙げられた改善点を受けて、改善した授業をしていただけたらと思います。
  - ・対面授業をまだ大学で受けたことはないですが科目ごとに課題がやや多いのではないかと感じます。コロナ禍の中でオンラインが続くと思いますので、少し配慮していただけると幸いです。
  - ・今回初めて遠隔授業の取り組みが始まり、授業の形態や評価の方法が確定せず戸惑った点もありました。遠隔授業のメリットもありますが、対面授業の方がより学習の実感が得られると思いました。
  - ・仕方ないことなので不満が大きいわけではないが、対面授業に比べると劣るところは多々ある。
  - ・対面授業を受けたことがないため分かりません
  - ・学長のメッセージ、拝見しましたが説明が少ないと感じられます。
  - ・感染拡大を防止するため、授業における学生同士の距離感が 2 メートルは取らなければいけないが、その距離を取ると授業において半数以下の学生しか教室に収容できないと述べていましたが、小中高社会人の方々は社会復帰をしていて、その方々の勉強や作業環境においても個人個人の距離が 2 メートル離れていないのに、何故大学生だけ大学に行けないのでしょうか。
  - ・小中高、社会人の方々はコロナウイルスと共存していくようなライフスタイルを送っているのに、国は Go To トラベル事業など、観光に行くことも許されているのに、何故大学生だけは普通の日常に戻れないのでしょうか。
  - ・何故私たち大学生だけがこんなにも我慢をし、社会から隔離されなければならないのでしょうか。
  - ・ちゃんと大学に行って対面授業を受けたいです。友達にも会いたいし、教授からも実際に会って質問をしてフィードバックを受けたり、ご指導いただきたいです。
  - ・きちんとした説明を、長くなってもいいのでよろしく願いいたします。
  - ・これは教養学部をお願いすることではないかもしれませんが、授業期間の間だけでもいいので、zoom の有料サービスを保証してもらうことはできないのでしょうか。演習やゼミでもっと話したいのに、有料サービスを使っている人がいないと何度も接続をつなぎ直さなければならず、少し不便です。授業外の時間で、授業のことを延長して話す時間とツールが欲しいなと感じました。
  - ・後期は演習や少数で行われる授業に関しては大学でやってほしい。(特に 4 年生のとりような授業) 大学生活 (学生生活) 最後の授業にも関わらず、このような形で 1 年終わるのはさすがにつまらないし、なぜか授業に対する意欲がわからない。いくつかの大学では対面でやって

---

いるところもあるため、1 授業あたりの人数を制限するなど、埼大も学生と大学の双方が感染予防を徹底して対面で行うべき。

- 先生方が様々な工夫をしてくださり、ほぼ滞りなく遠隔授業を行えたが、時間に対して課題量が多いなどの問題もあったため、後期の遠隔授業ではこの点も考慮していただきたい。実際行いたい授業ができないため内容に制限がかかっていると感じたので、後期はできる授業は対面式を取り入れるのが内容の向上につながると思う。
- 筆記試験が不可能なことで課題の量が多いように感じているが、負担ではあるが不可能ではない
- 対面授業を受けたことがないので比べることができません。
- はやく対面授業で友達を作りたい。来年の春まで遠隔授業か・・・。
- 休学も視野に入れます。
- 1 年生なので比較はできないが、授業内容に関しては遠隔でほぼ問題ないものもあれば不満の大きいものもある。
- 自分の部屋で周りの目がない中では集中が続きにくかった。
- 遠隔授業のせいで実際に通学できない、同じ授業をとっている人と会う機会がないのは 1 年生である私にとってはデメリットに感じる。
- 上級生は既にレポートや授業のやり方を知っていて、頼れる友人や先生もいるので、通学が不要という点で遠隔授業の方がいい。新入生は友達や先輩と知り合える機会がなく、質問できる人がいない中で授業も課題もたくさんあるだろうし、大変な思いをしているだろうなと思います。
- 情勢も鑑み、いち早く後期も遠隔授業を基本とすると決めた大学を支持します。
- 大学に通うことに対して学費や設備費を出しているのに、この状況で仕方ないとは思いますが、正直かなり精神的にも体力的にもしんどいです。大学は勉強だけでなく、人間関係を構築する場でもあると思うので、それができていないことが残念です。また、先生たちによって配慮の仕方が大きく違うのが気になります。課題がかなり多く、毎日それに追われているのも少し辛いです。
- 通信環境によって学習の習熟度に差が生まれると思う。正直後期も遠隔授業というのはつらい。
- 再びコロナウイルスが流行している状況を鑑みて、後期の授業も講義・演習問わずオンラインで行うべきであると考えます。
- また、講義はオンデマンド形式、演習は通信教育形式で行う方が全ての学生のネット環境に配慮する形になると思うので強く推奨したい。
- 遠隔授業に関して先生を責める生徒が多いことがとても悲しい。先生も生徒のことを考えてくれているはずなので、先生 VS 生徒の闘いのような感じではなく、一緒に乗り越えたいという気持ちでいる。
- 私は一度も大学で対面授業を受けた事がないのでこれまでがどういった感じだったかはわかりませんが、評価をレポートで行うためか、毎授業で A4 のレポートを 2, 3 枚書くという課題を出されるとその授業は週に 2 日あるため、課題が溜まりやすくなり、睡眠時間を大幅に削って課題に取り組んでいました。また、基盤科目であるにも関わらず、物理や数 3 などを学んだ理系にしか理解できない授業を淡々と進めている授業もあり、授業内容を理解できずに終えたものもありました。質問をする以前に何を言っているのか理解できない授業を受けて、そのまま課題に取り組むことに意味があったのか考えてしまいます。また、課題が多くあってもどこで力を抜いていいかわからず必死に課題と向き合い寝不足や、周りではできているのに自分だけでできているかもしれないという不安があったせいか、情緒が不安定になったことも感じています。せめて、課題に対する評価をその都度こちらに開示していただけると少しは気持ちが楽になるのではないかと思います。
- 最後に、以前のアンケートでも課題量について改善を求めましたが、全く変わらず、本当にこのアンケートが意味のあるものなのかとても疑問に感じています。
- 課題が多すぎて課題をこなすだけの授業になってしまう時があり内容が全然入ってこなかった。

- 
- ・対面授業を受けたことがありませんが、通信環境に対して理解が足りない教授がいらっしまったように感じます。通信エラーが原因のやむを得ない再入室に激怒して入室を許可しなかった教授がいらっしまったので、通信や機器エラーに関して、もう少し寛容になっていただけたらありがたいです。
  - ・こうした状況の中で後期もオンライン授業になってしまうことは仕方ないのかもしれないが、精神的に限界である。大学では友人や教授と議論しあいながら自由に深い学びが得られると思っていたが、オンライン授業はそれが十分に得られず、やるせない。また、感染拡大防止のためとはいえ、教室をほとんど利用しないというのも疑問である。密にならざるを得ない大人数の授業はオンライン従業にする事やオンデマンドでも視聴可能にするなどオンライン授業の良い点を取りいれながら段階的に対面授業を再開するといった、元通りの授業を少しでもうけられるような方法を検討していただきたいと思う。
  - ・授業外で質問や相談などの時間をとるのが難しく集中もあまり続かなかったので、対面を希望します。
  - ・教授や学生とのコミュニケーションが減ってしまう
  - ・まだ対面授業をスポーツ実技しか受けておらず比較ができないため、3にしました。ですが、オンライン授業でも大きな問題や不満はなく、私自身が大学に県境をこえて電車で通わなければならないので、現在の感染状況を考えると後期も第2タームのような形態だとありがたいです。
  - ・わがままは承知ですが、当然対面がいいです。
  - ・普通の講義はそれほど差はないと思う。しかし、ゼミや演習、研究法やその他ディスカッションを重視するものはやりにくかった。特にゼミ生同士でコミュニケーションをとる機会が演習の時だけになってしまい、関係を深めることができないのは残念だった。授業外で議論したり色々な話をする機会も重要な学びの場でありそれがなくなってしまったのが何よりも残念。後期はせめて演習だけでも対面にしてほしい
  - ・オンライン授業で、良くも悪くも授業が上手いか下手かの差が出たなと思いました。文章が支離滅裂でよく吃る先生がいたのですが、正直1時間半も聞いていられなかったので、申し訳ないが画面録画をして後で倍速で聞きました。
  - ・大学での学びがタスクの消化に置き換わった感じが否めません。学費と授業内容を鑑みると、費用対効果の面でどうしても不満です。
  - ・黒板が遠くて見えないなどの心配がなかったので板書がスムーズにできてよかったと思います。
  - ・どちらとも言えません。学期初めの頃は画期的だし家にいても大学の授業を受けられことに満足していましたが、後半になるにつれ毎授業の後の思った以上の身体的疲れ（IXで答えた通り）があったり、家から出なくてもいいということが逆にストレスになってしまったりして、実際に教室に行き先生の生の授業を聞くことを望むようになってきました。
  - ・いろいろネットのトラブルはありましたが、それは誰にでもありうることだと思うので否定したりはしませんし、むしろこんな急な事態に対応してくれた教授の方々事務の方々には感謝しています。後期はオンラインがすでに決定してしまっていますが、来年はできれば対面授業に戻っていただけることを切に願っています。
  - ・このアンケートの結果を文書でまとめて公表してほしい。情報を先生間、生徒間で共有するために。
  - ・オンデマンド授業など、ライブ配信型の授業での録音を用いて復習がしやすいことはとてもいいことだと思います。しかし、先生への質問がしにくい場面が多々ありました。
  - ・遠隔授業によって課題やレポートの量が増え、パソコンを長時間操作していることによる視力の低下が著しく見受けられた。
  - ・遠隔授業と対面授業は全く別のもので比較できません。ただ、誰もやったことのない、想定外の状況の中で、先生方は内容の濃い講義を工夫して、してくださったと思っています。その点は満足です。
  - ・通常は往復5時間ほどかけて通っていたため、遠隔授業になってかなり救われた部分が多く遠隔でできる授業は今後の実施するのも、学生の負担の軽減になると思う。

- 
- ・対面授業はまだ受けたことはありませんが、こちらの声を直接すぐに届けることができないのが不便です。タイピングが遅いので次のセクションに行く前に質問したいことがあっても間に合わず次へ行ってしまうこともありますし、そういったちょっとした不満がいくつも積み重なっている状態です。
  - ・登下校がない分出席が楽でしたが、やはり他の生徒や先生方との関りを持てなかったことやあまり直接質問をする機会がなかったことが少し残念でした。
  - ・教員や学生とディスカッションを行うような演習では直接対面で意見を交換できないことに不満が残った。
  - ・そもそも対面授業を大学で受けたことがないので比較をすることはできませんが、遠隔授業にはいい印象はありません。
  - ・もちろん、大学の教授の方々をはじめ、様々な関係者の方々が私たち学生のためを思って遠隔授業でも支障がないよう工夫をしてくださっていたことは重々承知しております。また教授の方々も私たちと同様慣れないと思われる環境下でいつも授業を様々な形で提供して下さい、とても感謝しています。また、遠隔授業だからこその利点もあると思っています。ですが、やはり遠隔授業では限界があり、本来の対面授業で感じる教室の空気、授業の面白さは感じることはできません。実際に授業を受けたいです。特に語学については遠隔授業では限界があると感じました。
  - ・オンデマンド配信では授業内容がわからないことがあっても解決することができません。
  - ・事実上一年間オンラインでの授業を決定したことは今の社会情勢を見る限り大変賢明であり尊敬できる決断であったと思っています。ですがこのようなオンラインが一年間も続くとなると精神面ではもう耐えられなくなってくると私個人は思います。実際、前期をオンラインで受けましたが、実際に大学に行けず、新たな学びを生で受けることもできず、新しい友達とも会えず、新しい生活をすることもできず、この半年間強い喪失感と虚無感を感じてきました。これが通算で一年間も続くと考えると大変つらいです。そこに相まって社会が通常通り動き始めているのに、主に大学がオンライン化を求められていることに対しても強い疎外感を感じています。
  - ・ここまで長々と自分本位なことを書き連ねましたが、決して大学を非難しているのではありません。慣れない環境の中講義をしてくださる教授の方々や関係者の方々には大変感謝しています。また、このようなアンケートも実施してくださっていることについても感謝しています。
  - ・一年間オンラインで大変苦しく、つらく、耐え難いですが、学びを続けていきたいと思います。
  - ・対面授業を受けていないため比べられませんが、遠隔授業が非常に疲労を蓄積させ、他生徒との交流もないため学習意欲の低下にはつながっていると少し感じています。